

名古屋学芸大学
地域連携推進研究機構
第3号

名古屋学芸大学 地域連携推進研究機構年報

第3号
2022年9月

第3号
2022年9月

2022年9月

名古屋学芸大学
地域連携推進研究機構

目 次

年報第3号発刊にあたり 地域連携推進研究機構長 岸本 満	1
------------------------------	---

I. 地域連携推進研究機構

1. 機構の発足からの歩み	2
2. 運営委員会	3
3. 部会(ワーキンググループ)活動	4
4. 地域連携活動データベースの構築	5
5. 後援等名義の使用許可に関する要項の制定	5
6. 大学公開講座開催	5
7. 日進市共催大学連携講座開催	7
8. 日進市連携講座「子ども大学につしん」開催	9

II. サービスラーニング(SL)センター

1. 活動概要	10
2. SLセンターの目的	10
3. 学生のSL登録・参加概要	10
4. ボランティア要請及び派遣件数	14
5. ボランティア派遣実績	16
6. SL参加学生の体験報告(抜粋)	18
7. 防災人材育成プログラム	22
8. スキルアップ講座等	27
9. 復興支援活動	27

III. 2021年度の地域連携活動データ

1. 活動件数	37
2. 活動一覧	38

IV. 資料

1. 名古屋学芸大学地域連携推進研究機構規程	59
2. 連携協定一覧	62
3. 2021年度地域連携推進研究機構運営委員会委員名簿	63

年報 3 号発刊にあたり

コロナ禍で地域連携・SL(サービラーニング)活動件数は減少しましたが、2022 年度になって自粛してきた活動が再開されており、新規のプロジェクトも始動してまいりました。

名古屋学芸大学では各学部の特徴と専門性を背景に、自治体や企業等との共同プロジェクトが数多く展開されてきました。このような連携活動は、学生にとって貴重な経験の場であり、成長する機会になります。学生は活動の中で専門性を高め活躍し、学部・学科・専攻を超えたメンバーと協働することもあります。プロジェクトに参加した学生は、考える力、チームで挑戦する力、リーダーシップなどのスキルを高めます。そして、プロジェクト完了時には大きな満足感そして感動を得ています。

地域連携推進研究機構では、学生、教職員の活動や活躍を、適時に、効果的に学内外に発信することも重要と考え、情報発信のしくみ創りにも取り組んでまいります。

2021 年度は 7・12 月に「大学公開講座」を開講、後期には 4 学部 12 名の教員が「日進市大学連携講座」を担当しました。また、地域連携推進研究機構運営委員会の部会(WG:ワーキンググループ)を編成し、3 学部の学生・教員が参画する「食育教材開発プロジェクト」をスタートさせました。開発した教材は 2022 年 6 月 18-19 日で開催される食育推進全国大会で発表されます。また、日本赤十字社愛知県支部と「災害時の食の支援のためのキッチンカーの活用プロジェクト」も開始、2022 年度は共同研究として継続、実施され、献立や衛生管理システムを提案する課題に学生が取り組んでいます。SL 事業では「防災人材育成プログラム」を開講、また岩手県で開催された「ぼうさいこくたい 2021」で復興創生インターンに参加した学生の発表を支援するなどの事業を行いました。

2022 年度も「大学公開講座」、「日進市大学連携講座」が開催される予定です。SL 事業では「防災人材育成プログラム」を全 6 回開催、連携協定を結ぶ中日青葉学園様とボランティア受け入れのスキームを確立します。10 年前から行ってきた東北支援の活動は現在「みなみそうまSL」事業に継承され、その成果は「ぼうさいこくたい 2022」で発表される予定です。

本機構は健康・栄養研究所、産官学協同研究センター、子どもケアセンター、SL センターそして各研究科、各学部、各学科、各研究室が行う地域連携、社会貢献活動の情報を収集し、それらを「つなぐ」、「むすぶ」、「ひろげる」役割を担っています。教職員や学生の活動を支援し、活躍を紹介し、地域連携活動や SL 活動に参画する意欲を高め、機会を提供して参ります。

引き続き、地域の自治体、企業、団体の皆様とも、連携、研究、ひとつづくり、ものづくり等を協働し、地域課題や生活者の課題を一緒に解決してまいりたいと思います。

2022 年 6 月 13 日

地域連携推進研究機構長
サービラーニングセンター長
岸 本 満

I. 地域連携推進研究機構

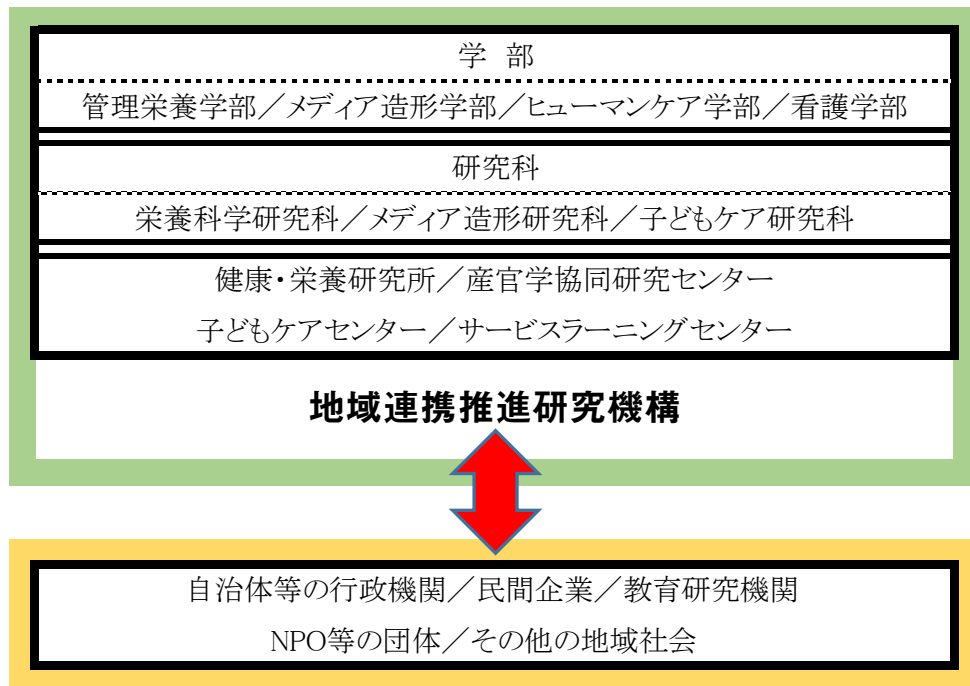
1. 機構の発足からの歩み

本機構は 2019 年 4 月、本学中期計画 (NUAS NEXT) の三つの将来ビジョンのうちの一つである「地域創生、生涯学習など多岐にわたる課題解決に資する中核的存在、いわゆる知(智)の拠点」として、大学の機能強化を図ることを目的に設置されました。

組織としての機構を具体化するきっかけとなったのは、文部科学省の 2018 年度私立大学研究ブランディング事業への申請でした。このブランディング事業申請の基盤となったのは、2017 年の 4 月に地域連携の学長補佐となった管理栄養学部の岸本満教授の下で、3 学部にまたがるワーキンググループが本学の地域連携活動を掘りおこし見える化したことでした。このワーキングの調査結果によれば、大学にはその当時 363 件の活動が認められ、これらの実績を基盤に発展的に地域連携関連の研究活動を実現することが、ブランディング事業申請の主要素でした。

残念ながらブランディング事業の採択は叶いませんでしたが、その事業計画の方向性を保持して、本学における地域連携研究活動をさらに推進するため、「名古屋学芸大学地域連携推進研究機構規程」を制定し、2019 年 4 月、岸本副学長が機構長に併任され、新たに課長職を 1 名採用し、学生の社会貢献を支援するサービスラーニングセンターを包括して、本学における地域連携に関わる全学組織として本機構がスタートしました。

全学組織としての機構の役割は、自治体、産業界、教育研究機関、NPO 等の団体、その他地域社会と大学・教職員・学生を「つなぐ・むすぶ・ひろげる」ことであり、次頁の図に示すような大学の地域連携活動の総合窓口となるものです。その業務は、1) 地域連携推進に係る方針の策定に関すること、2) 地域連携研究の実施、社会実装の推進及びその支援に関すること、3) サービスラーニングセンターの運営に関すること、4) 地域連携、地域貢献活動及び関連する教育・研究成果の広報に関すること、5) 公開講座の実施・運営に関すること、6) その他全学的な地域連携推進に関することです。



2. 運営委員会

地域連携推進研究機構の重要事項を審議するための運営委員会を隔月で開催、2021年度における主要な議題は以下のとおりでした。(委員名簿は巻末に掲載)

第1回 (2021年5月6日)ZOOM会議

1. 名古屋学芸大学公開講座(後期)開催について
2. 2021年度日進市大学連携講座の開催計画について

第2回 (2021年7月1日)メール会議

1. 機構活動・SLCの広報について

第3回 (2021年9月2日)メール会議

1. 機構活動・SLCの広報について
2. 地域連携推進研究機構部会(WG)の発足とWGプロジェクトについて
3. 補正予算申請について

第4回 (2021年11月4日)メール会議

1. 地域連携推進研究機構部会(WG)の発足とWGプロジェクトについて

第5回 (2022年1月6日)メール会議

1. 日本赤十字社愛知県支部に各種講習会等を依頼する手続きについて

第6回 (2022年3月3日)メール会議

1. 大学サービスラーニングセンター規程及びサービスラーニング運営委員会規程について
2. 2022年度地域連携推進研究機構年報第3号発刊について

3. 部会(ワーキンググループ)活動

地域連携推進研究機構規程第 13 条に定める運営委員会の「部会」(ワーキンググループ)は、4 学部を繋ぎ、各学部の特色・得意を地域連携活動に反映させることを目標に、機構と運営委員会から付託された課題について調査、検討し、問題解決策の提案等を行い、計画の企画・推進に携わります。

(1)キッチンカープロジェクト WG

日本赤十字社愛知県支部との連携協定(2014.11～)に基づき、2021 年度より「災害時の食の支援のためのキッチンカーの活用」に関する共同プロジェクトを開始しました。管理栄養学部の教職員 4 名がワーキンググループを編成、管理栄養学部の環境衛生学研究室 3 年生、Canteen サークルの学生が参画しました。

日本赤十字社愛知県支部の 2021 年度事業計画には、災害救護事業として「避難所の設置に係る支援等に対しては、(中略)要配慮者に対する支援にも取り組んでいく」ことが述べられており、キッチンカー(4 トン)を活用して高齢者、母子、慢性疾患等要配慮者への食事支援に取り組むことが計画されました。

キッチンカーは 2021 年度内に完成、2022 年度以降の運用に向けて、日本赤十字社愛知県支部と名古屋学芸大学が協力して準備を進めました。

10 月 22 日(金)日本赤十字社愛知県支部にて「キッチンカーを活用した災害時の食の支援共同プロジェクト」のキックオフミーティングが行われました。日本赤十字社愛知県支部 清水事業部長、岸本地域連携推進研究機構長のあいさつの後、日本赤十字社愛知県支部 救護・事業推進課 近藤氏が日本赤十字社の活動、とりわけ救護活動について講演されました。その後、環境衛生学研究室 3 年生が「キッチンカーに必要なマニュアル・チェックリストについての考察」と「キッチンカー従事者の教育訓練」について発表があり今後の活動に向けた準備状況が紹介されました。さらに管理栄養学部日暮准教授より、Canteen サークル 51 名がチームに分かれて通常食はじめ要配慮者(糖尿病、腎不全、食物アレルギー、咀嚼困難、嚥下困難)対応の献立を作成する予定であることが報告されました。

以下の写真はキックオフミーティングと、日本赤十字社愛知県支部の施設見学の様子です。



また、3月17日(木)に、完成、納車されたキッチンカーの見学を行いました。キッチンカーの設備、作業空間の計測等を行い、新年度に向けた活動の準備を整えました。



<https://www.nuas.ac.jp/profile/research-collaboration/kitchencar.pdf>



(2) 食育教材開発 WG

2021年度は管理栄養学部・ヒューマンケア学部・メディア造形学部の教職員と学生が参画する食育教材開発プロジェクトをスタートさせました。テーマは、「地域ニーズに即した食育教材の開発」で、この教育実践の成果は、2022年6月18日・19日に愛知県で開催される第17回食育推進全国大会で発表しました。成果物は、「食育教材で楽しく学ぶコンテンツ」食育教材のお披露目>コーナーに出展されました。

<https://www.nuas.ac.jp/profile/news/2022/220708.html>



4. 地域連携データベースの構築:地域連携カード

2019年度より地域連携活動に係る情報は本機構で集約してきました。情報をアーカイブ化するため各部局及び各教職員から、活動の名称、連携先、活動の主体者、活動の名称、期間、活動の場所、参加人数、活動の分類、活動のキーワード等の情報を「地域連携カード」に記入して提出いただいています。連携活動の分類は、「研究(6小分類)」、「教育(6小分類)」、「授業等を通じた社会連携・貢献活動(4小分類)」、「その他の連携等(2小分類)」の計18の分類を設けています。→P37～58「Ⅲ.2021年度の地域連携活動データ」参照

5. 後援等名義の使用許可に関する要項の制定

地域連携の一環として、学外から本学に対して後援等名義使用の依頼があった場合の許可の基準及びその手続き等を定めるための要項を2019年度に制定しました。

6. 大学公開講座開催

対面及びZOOMウェビナーを併用して計2回開催しました。前期公開講座(2021年7月24日開催)はメディア造形学部ファッション造形学科の島上祐樹准教授が担当し、講座テーマは、「コットンのはなし ウールのはなし—おりものの産地の今—」でした。(P.6 上段写真) 後期公開講座(2021年12月11日開催)は、メディア造形学部映像メディア学科の吉野まり子教授が担当し、講座テーマは、「テレビを見ない学生が作ったテレビ番組がオモシロカット!」で、名古屋市と共催で開催しました。(P.6 下段写真)

<https://www.nuas.ac.jp/profile/news/2021/210730.html>

<https://www.nuas.ac.jp/profile/news/2021/211213.html>



7. 日進市共催大学連携講座開催

日進市教育委員会生涯学習課と連携し、日進市生涯学習情報誌、日進市公式ホームページ等で参加者を募り、10月～3月の間に、4学部12名の教員による講座を計14回開講しました。開講方法は講座のテーマ、内容によって異なり、日進市の施設で対面にて実施した講座もありましたが、大学からZOOMで配信する方式でも開講しました。

<https://www.nuas.ac.jp/profile/research-collaboration/renkei.html>



写真 上段 第1回講座 石田路子教授

写真 中・下段 第8回講座 岡田暁子准教授

開催日時、開催方法、講師氏名、テーマは以下のとおりです。

- ・ 第1回:2021年10月2日(土)13時30分～15時 / ZOOM 配信
看護学部 石田路子教授
テーマ:「介護保険～最新情報をキャッチしましょう!～」
- ・ 第2回:2021年10月8日(金)10時～11時30分 / 対面:日進市民会館
ヒューマンケア学部 酒井多香子教授
テーマ:「今、子どもに伝えたい性情報～学校教育と家庭教育の違いから考える～:学校ってどんなところ～学校教育の現状と課題～」
- ・ 第3回:2021年10月9日(土)10時～11時30分 / ZOOM 配信
ヒューマンケア学部 浜田恵講師
テーマ:「子どもの行動の理解とほめ方のコツ」
- ・ 第4回:2021年10月15日(金)10時～11時30分 / 対面:日進市民会館
ヒューマンケア学部 酒井多香子教授
テーマ:「今、子どもに伝えたい性情報～学校教育と家庭教育の違いから考える～:学校における性に関する教育の考え方・進め方」
- ・ 第5回:2021年10月22日(金)10時～11時30分 / 対面:日進市民会館
ヒューマンケア学部 酒井多香子教授
テーマ:「今、子どもに伝えたい性情報～学校教育と家庭教育の違いから考える～:「性」を考えることから「いのち」の大切さを学ぶ家庭教育」
- ・ 第6回:2021年11月6日(土)10時～11時30分 / ZOOM 配信
ヒューマンケア学部 大島光代准教授
テーマ:「言葉を育む・心を育むー意欲のある子どもに育てましょー」
- ・ 第7回目:2021年11月27日(土)10時30分～12時 / ZOOM 配信
メディア造形学部 柿沼岳志講師
テーマ:「風刺(サタイア)としてのサイエンス・フィクション」
- ・ 第8回:2021年12月17日(金)10時～11時30分
/ 対面 日進市民会館小ホール
ヒューマンケア学部 岡田暁子准教授
テーマ:「まるごとピアノの話ー生演奏とともにー」

- ・ 第9回:2022年1月25日(火)10時～11時30分 / ZOOM 配信
看護学部 宮本恵子准教授
テーマ:「食品の多様性で健康寿命をのばそう！」
- ・ 第10回:2022年2月10日(木)10時～11時30分 / ZOOM 配信
管理栄養学部 松下英二講師
テーマ:「誰かに伝えたい、健康長寿の話」
- ・ 第11回:2022年2月17日(木)10時～11時30分 / 対面 日進市民会館
管理栄養学部 伊藤勇貴講師
テーマ:「食の安全・安心を考えましょうー食品添加物と健康食品について」
- ・ 第12回:2022年2月24日(木)10時～11時30分 / 対面 日進市民会館
管理栄養学部 安友裕子講師
テーマ:「家の中ですぐできる！たのしい運動で体力アップ！」
- ・ 第13回:2022年2月25日(金)10時30分～12時 / ZOOM 配信
メディア造形学部 柴田知司准教授
テーマ:「デジタルメディアにおけるグラフィックデザインの実践」
- ・ 第14回目:2022年3月5日(土)10時～11時30分 / ZOOM 配信
看護学部 穴井美恵教授
テーマ:「噛む力と認知機能の関係」

8. 日進市連携講座「子ども大学につしん」開催

2021年8月19日(木)に日進市連携講座「子ども大学につしん」を開催しました。市内小学4年～6年生を対象にヒューマンケア学部子どもケア学科 石井鈴一教授が「電気と磁石のふしぎな関係を探ろう!!」をテーマに実習などを行いました。28名が参加しました。

<https://www.nuas.ac.jp/profile/news/2021/210826.html>



Ⅱ. サービスラーニングセンター

1. 活動概要(2021年4月～2022年3月)

2021年

- 5月 30日 やろまいか！愛・地クリーン作戦
- 6月 16日 みなみそうまSL
- 9月 1日・2日・3日 あいち国際女性映画祭
- 15日 レンチンレシピ募集
- 25日 防災人材育成プログラム 災害エスノグラフィ
- 10月 17日 長久手市で稲刈り
- 23日 防災人材育成プログラム DIG
- 24日 やろまいか！愛・地クリーン作戦
- 11月 27日 防災人材育成プログラム 救急法
- 28日 やろまいか！愛・地クリーン作戦

2022年

- 1月 30日 スペシャルオリンピックス スポーツプログラム
- 30日 献血の呼びかけ(1月)
- 2月 13日 献血の呼びかけ(2月)
- 3月 13日 マラソンフェスティバル

2. SLセンターの目的

本学は「人間教育と実学」の建学の精神に基づき、「人と心」をテーマに、人間のために「知と美と健康を創造」していくことを基本理念としています。学生が社会の要請に対応した社会貢献活動(ボランティア活動)に主体的に参画し、体験的学習を通じて人と交わり心を通わせ、成長することを支援します。ボランティア活動を通じて、学びを得るという趣旨で、ボランティアセンターではなく、サービスラーニングセンター(SLセンター)と名付けられました。

3. 学生のSL登録・参加概要

(1)SL登録状況

2021年度のSL(ボランティア)登録状況を表1に示します。在籍者数(3,106名)に対し、登録学生は593名(19.1%)でした(表1)。

表1 2021年度 SL 登録状況

2022年3月31日現在

学部	学科	学年	在籍者数 (人)	登録者数 (人)	在籍者に対する 登録者の割合 (%)
管理栄養学部	管理栄養学科	4年生	170	115	68
		3年生	173	108	62
		2年生	175	42	24
		1年生	176	43	24
ヒューマンケア学部	子どもケア学科	4年生	221	135	61
		3年生	233	45	19
		2年生	233	13	6
		1年生	196	30	15
メディア造形学部	映像メディア学科	4年生	116	19	16
		3年生	120	6	5
		2年生	130	1	1
		1年生	124	4	3
	デザイン学科	4年生	77	2	3
		3年生	87	3	3
		2年生	86	3	3
		1年生	93	1	1
	ファッション造形学科	4年生	65	14	22
		3年生	66	0	0
		2年生	69	0	0
		1年生	72	0	0
看護学部	看護学科	4年生	101	7	7
		3年生	107	0	0
		2年生	108	1	1
		1年生	108	1	1
合計			3106	593	19

学科別登録者割合を図1に示します。

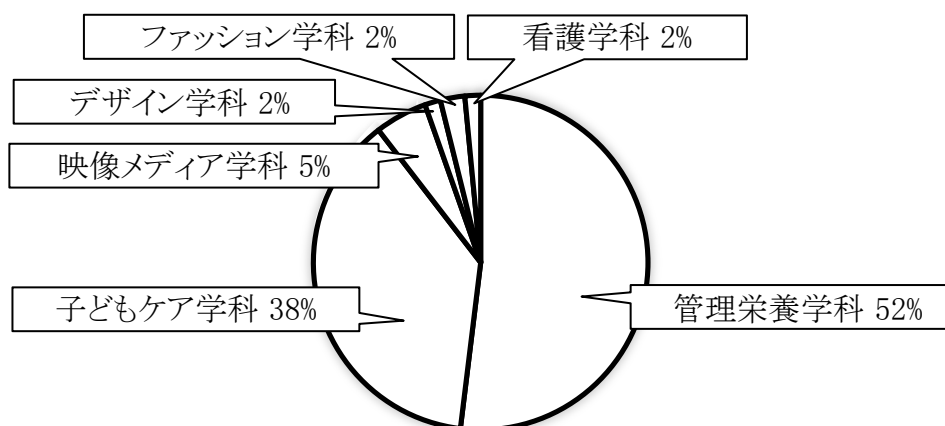


図1 学科別 SL 登録者割合

2019年度から2021年度における新規登録者数を表2に示します。当該年度に登録した学生が各学年に何名いたかをあらわしており、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響でボランティア要請が少なかったため、2021年度には2年次、3年次になってから新規に登録する学生もみられました。

表2 ボランティア新規登録者数

2022年3月31日現在 単位:人

学部	学科	学年	2019年度	2020年度	2021年度
管理栄養学部	管理栄養学科	4年生	0	0	0
		3年生	1	0	8
		2年生	15	7	25
		1年生	93	17	43
ヒューマンケア学部	子どもケア学科	4年生	0	0	0
		3年生	2	2	7
		2年生	0	0	8
		1年生	38	5	30
メディア造形学部	映像メディア学科	4年生	0	0	0
		3年生	0	0	1
		2年生	0	0	1
		1年生	5	0	4
	デザイン学科	4年生	0	0	0
		3年生	1	0	1
		2年生	0	0	3
		1年生	2	0	1
	ファッション造形学科	4年生	0	0	0
		3年生	0	0	0
2年生		3	0	0	
1年生		0	0	0	
看護学部	看護学科	4年生	0	0	0
		3年生	0	0	0
		2年生	0	0	0
		1年生	0	1	1
合計			160	32	133

(2) SL 参加状況

2019～2021年度におけるSL参加者数を表3に示します。

管理栄養学部及びヒューマンケア学部学生の参加が多い傾向がみられました。

2020年度はボランティア要請が少なかったことから、2021年度は参加学生が増化したと考えられましたが、2019年度の参加状況には戻りませんでした。

表3 年度別活動状況

2022年3月31日現在 単位:人(延べ人数)

学部	学科	学年	2019年度	2020年度	2021年度
管理栄養学部	管理栄養学科	4年生	0	0	0
		3年生	6	5	15
		2年生	21	20	24
		1年生	81	3	28
ヒューマンケア学部	ヒューマンケア学科	4年生	1	0	1
		3年生	2	5	5
		2年生	6	0	3
		1年生	11	4	25
メディア造形学部	映像メディア学科	4年生	0	0	0
		3年生	0	0	2
		2年生	0	0	2
		1年生	3	0	7
	デザイン学科	4年生	0	0	0
		3年生	1	0	2
		2年生	0	0	5
		1年生	0	0	0
	ファッション学科	4年生	0	0	0
		3年生	0	0	0
		2年生	2	0	0
		1年生	0	0	0
看護学部	看護学科	4年生	0	0	0
		3年生	0	0	0
		2年生	0	0	0
		1年生	0	1	3
合計			134	38	122

4. ボランティア要請及び派遣件数

2019～2021年度のボランティア要請件数と派遣件数を表4に示します。
 2019年度65件あったボランティア要請は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け2020年度は18件に激減しました。2021年度には21件と若干ですが増え、感染予防対策やその他学生指導を徹底し17件に派遣することができました。

表4 ボランティア要請及び派遣件数

要請元及び派遣先		2019年度(4.1～3.31)		2020年度(4.1～3.31)		2021年度(4.1～3.31)	
		要請	派遣	要請	派遣	要請	派遣
1 郡	市町	36	18	5	2	15	5
	官公庁	1	1	1	0	0	0
2 郡	協定機関	0	0	0	0	5	2
	公益法人	17	1	7	0	5	2
	社会福祉法人	3	3	0	0	0	0
3 郡	NPO	5	2	2	1	6	3
	NGO	0	0	0	0	0	0
4 郡	企業	0	0	0	0	0	0
	大学	3	1	3	2	10	5
	一般	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
合計		65	26	18	5	41	17

1～4群の群別割合を図2に示します。

(1 群:市町・官公庁、2 群:協定機関・公益法人・社会福祉法人、3 群:NPO・NGO、4 群:企業・大学・一般・その他)

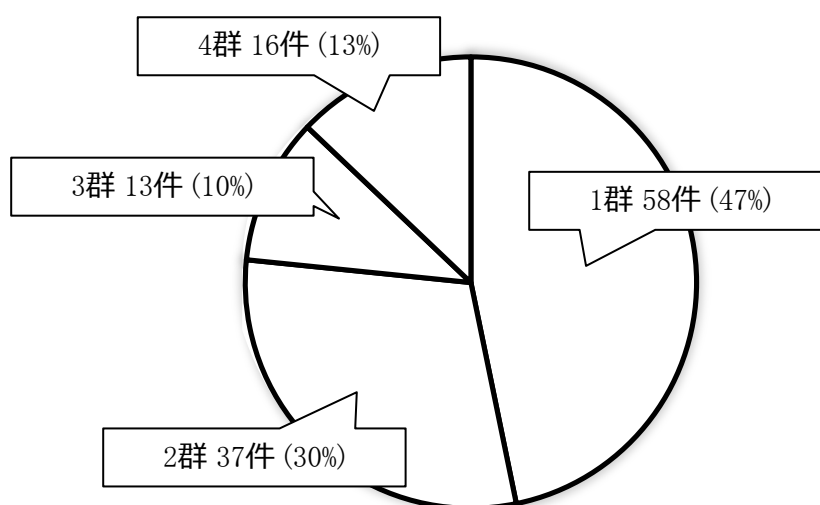


図2 群別ボランティア要請件数の割合

要請件数に対する派遣件数の割合は、2019年度は40%でしたが2020年度には27%となりました。2021年度には41%まで回復しました。(図3)。

しかし、SLセンターが定める「学生に紹介、派遣する要件」にあてはまる要請事案であっても、希望する学生がなく、派遣できない事案が約半数ありました。学生は学部学科の学びに沿ったボランティアを希望する場合が多いので専門性や学びを活用できる事案をできるだけ収集したいと考えています。

2021年度はコロナ禍でもボランティア要請が増え、参加学生の割合も回復しました。

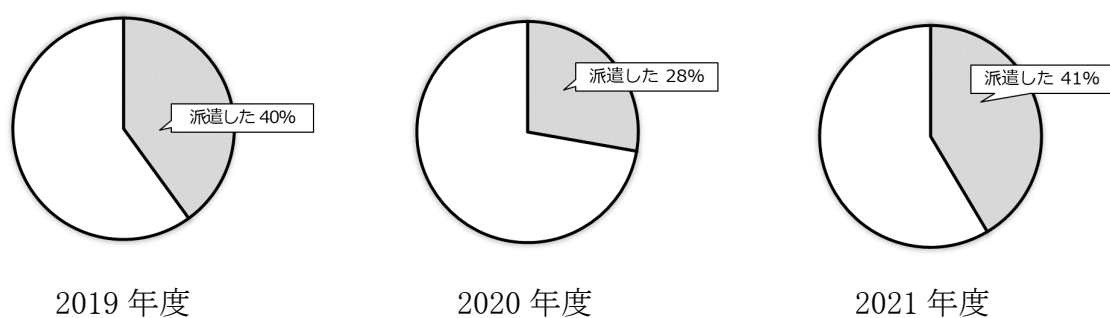


図3 ボランティア要請件数に対する学生派遣件数の割合

5. ボランティア派遣実績

2019～2021年度のボランティア派遣の種類とその概要を表5-1～5-3に示します。

表5-1 2019年度ボランティア派遣実績

2019年度(4.1～3.31)

種類(件数、人数)	概要
障がい者と接する (2件、2人)	愛知県医療療育総合センター「センターふれあいフェスティバル」 (旧コロニー祭)
	名東区ふれあい交流会
イベント・祭りの運営 (9件、57人)	にしんわいわいフェスティバル 「出展団体」
	にしん夢まつり実行委員会
	にしんわいわいフェスティバル ボランティアスタッフ
	鯨レレ万博(音楽フェスティバル)運営
	2019年第11回スペシャルオリリンピックス日本・愛知 夏季地区大会
	愛知育児院「ふれあいまつり」
	特別養護老人ホームつばき つばき祭り
	第20回にしん市民まつり学生ボランティア
	第14回あゆみまつり
子どもと接する (9件、38人)	福祉会館「子どもまつりボランティア」
	西小地区社協子どもサロン もりもり元気食堂
	「もりもり元気食堂」夏の延長版
	おいでん屋 子ども食堂 夏休みおいでん
	ココカラ 子ども食堂
	急募キッズチャレンジのお手伝い
	夏休みこどもの学習援助ボランティア募集
	日進市絆子ども食堂
	東浦町学生ボランティア事業(令和元年度) 学生ボランティア(スクールパートナー)
清掃活動(1件、15人)	やろまいか！愛・地クリーン作戦！！
その他 (3件、10人)	南小学校区防災訓練のボランティアに参加しませんか？
	G 20 愛知・名古屋外務大臣会合 大学生語学
	ボランティアコーディネーターと行く！ボランティア体験講座
復興インターン (1件、3人)	復興・創生インターン説明会

表5-2 2020 年度ボランティア派遣実績

2020 年度(4.1~3.31)

種類(件数、人数)	概要
障がい者と接する (1 件、2 人)	グランドソフトボールの練習会の補助 ボランティア募集
イベント・祭りの運営 (1 件、19 人)	マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 2021 ボランティア募集！ (ランナー受付やコース整理などのイベント運営)
子どもと接する (2 件、5 人)	日進版こどものまち事業「おいでよ！子どものまち」学生ボランティア募集 おいでん家 子ども食堂
防災人材育成プログラム (2 件、12 人)	防災を地域の皆様と一緒に学びませんか？(防災人材育成プログラム) 防災を地域の皆様と一緒に学びませんか？ (防災人材育成プログラム 2 回目)

表5-3 2021 年度ボランティア派遣実績

2021 年度(4.1~3.31)

種類(件数、人数)	概要
障がい者と接する (1 件、2 人)	スペシャルオリンピックス日本・愛知 スポーツプログラム
イベント・祭りの運営 (2 件、39 人)	あいち国際女性映画祭 2021 マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知 2022
子どもと接する (1 件、3 人)	日進版こどものまち事業
清掃活動(1 件、24 人)	やろまいか！愛・地クリーン作戦！！
その他 (6 件、15 人)	防災ボランティアコーディネーター養成講座 ボランティアカフェ 長久手 名古屋城観光ガイドボランティア 名古屋外国語大学 マスコミ業界研究グループ 「レンチンレシピ募集」 長久手で稲作体験 献血の呼びかけ
防災人材育成プログラム (3 件、21 人)	防災人材育成プログラム 1 回目 防災人材育成プログラム 2 回目 DIG 防災人材育成プログラム 3 回目 一次救命処置
南相馬市 SL(1 件、18 人)	みなみそうま SL

6. SL 参加学生の体験報告(抜粋)

(1)社会福祉(高齢者・障がい者・子ども等)系活動

こどものまち: 管理栄養学科 3年

子どもと関わることができて楽しかったです。前年度とは違い、人数も多くなったこともあり、より子どもが楽しそうに活動している様子を見て私も嬉しかったです。コロナということもあり、なかなか食に関わることができるボランティアが見つからない中、カレー作り(日進市総合運動公園中心広場)ができて良かったです。初めて会う友達とも、すぐに仲良くできる児童生徒が多く、誰とでも話せる子どもたちを見習おうと思いました。

長久手で稲作体験: 管理栄養学科 2年

稲刈する前は、天気が曇っていたので行われるか不安でしたが、稲刈開始してから天気が晴れてきたので最後まで行くことができました。風が強かったので行く前はとても寒かったのですが、稲刈で働いていたら体が温かくなりました。機械で稲を刈る方がとても楽で時短になるけど、昔の人が手で稲を刈る大変を知ることができました。稲を干すことによってアミノ酸と糖の含量が高くなり、また稲を逆さまに吊るすことで、藁の油分や栄養分、甘みが最大部の米粒へ降りて栄養とうま味が増すということを学びました。農家の方ではなく、大工さんや建築士さん達が米作りをしていることに驚きました。広い敷地だったので大変でしたが、子どもと一緒に楽しく行くことができたし、刈った稲を全て竹に吊るした時の達成感を感じました。また機会があったら参加したいです。

(2)環境保全(自然保護・清掃・美化等)系活動

清掃活動: 子どもケア学科・幼児保育専攻 1年

SLを行って良かったことは、他の参加者の方と協力し合えたことと、ゴミ拾いをしている最中に通りかかった人が、「ありがとう」と声をかけてくれたことです。気持ちが穏やかになってとても充実した時間を過ごすことができました。また、困ったことは、歩道脇の植え込みの枝にゴミが引っかかって、とても取りにくかったことと、カップ麺の容器や、弁当の容器などには、雨水が大量にたまっていて、持ち上げるのが大変だったことです。トングの扱い方に慣れておらず、タバコの吸いがらを1つ拾うことも大変で、腕が筋肉痛になりました。パッと見は、ゴミなど無く、キレイに見える歩道でも、草などに隠れてたくさん捨てられていたので、きっとこの場所だけでなく、どこの歩道もそうなのだろうなと思いました。今回の経験を生かし、他の清掃ボランティアにも積極的に参加したいです。

(3)文化交流(芸術・スポーツ・通訳等)系活動

あいち国際女性映画祭: 映像メディア学科 2年

テレビで紹介されたり、とても注目された作品だけじゃなくまだそこまで世には知られていない作品が多く上映されていて、知る人ぞ知る映画を知るきっかけになりました。ボランティアの説明会の時に招待券をもらえたので初めて名前を聞く監督さんの作品も見ることができました。「女性映画祭」ということもあって、女性中心の作品が多く、女性の活躍に心惹かれました。この映画祭ボランティアに参加して、自分も映画祭主催の一員になれた気持ちになりました。今年で26回目となるこの映画祭をもっと早く知りたかったなと感じます。まだ映画監督のイメージは男性の方が強いですが、今回のボランティアで女性の監督にしか出せない繊細でどこか影があって、美しい表現に出会うことができました。もっと女性映画が世に広まるように、この映画祭がこのまま続いたらなと思います。ただ、1つ困ったことが、上映中は特に仕事がなく1時間弱暇でした。

(ミッドランドの方しか行ってないので、ウィルあいちの方はわかりません。)

(4)安全防災(安全対策・防災活動・災害等)系活動

防災人材育成プログラム(災害エスノグラフィー): 子どもケア学科・幼児保育専攻 1年

災害エスノグラフィーを読み心に残った箇所を、グループで話し合う中で、新たな発見や今後解決していくべき課題が出ました。また、学生目線の考えだけでなく、子どもやお年寄りへの配慮などの私と世代の違う方の考えを聞くことができました。初めて知ったことの中で特に印象に残ったのは、災害時、小学生も手伝っていたことです。これは、掃除などの学校での活動や家でのお手伝いが大きく影響しているなと感じました。このように日頃の生活から得ることはたくさんあり、意識して生活していこうと思いました。災害が発生してからの経過時間によって環境ややるべきことは変化するので、その時柔軟に対応できるように備えるべきことが分かったと思います。今回参加できて良かったです。

防災人材育成プログラム(DIG): 看護学科 1年

日本でこれまでに起こった災害についての話を聞いている際、聞き覚えのないものがいくつかあったので、もっと災害について勉強するべきだと感じた。しかしながら、2016年の熊本地震は祖母が熊本に住んでいるので当時は心配して何度も電話をかけたことを思い出した。帰宅したらまた電話をかけて今日参加したプログラムについて話したいと思った。地図に広い道路・狭い道路を色分けしてマーカーをひいたり、危険な場所や施設に目立つ色のシールを貼ったりする作業を行ったことは私の記憶が正しければ今回が初めてなので新鮮に感じた。日進市は買い物や遊びに行く用事以外ではあまり行く機会がなかったが、地図を見ると浄化センターや市民会館、池のある広い公園など、娯楽施設以外の自分の知らなかった施設がたくさんあって驚かされた。施設の周辺は狭い道路が多く、渋滞しやすく、災害時は避難するのに時間がかかりそうだなと思った。また、上納池スポーツ公園には大きな池

があり、津波が起こる危険性はないのか疑問に思った。帰宅したらハザードマップで調べてみようと思った。

防災人材育成プログラム(救急法)： 子どもケア学科・幼児保育専攻 1年

救急法について学ぶことは今回が初めてではありませんでしたが、観察の仕方や身近なもので止血・固定する方法など、今まで知らなかったことを学ぶことができて良かったです。傷病者の観察では、意識や呼吸の確認だけでなく、脈拍や四肢の動き、目の動きなどの確認もあることを初めて知りました。それぞれの手順を丁寧に教えていただくことができたので、実際に対処する時にしっかり行えるように家でも時々思い返したり、シミュレーションをしようと思いました。傷病者の保温については、傷病者になるべく負担がかからない毛布の使い方を知りました。心肺蘇生の実技では、胸骨を5CM程度押し下げることがとても難しかったです。もし、この短期講習を受講していなかったら、胸骨圧迫を行っても正しくできなかったと思います。止血・けがの手当てでは、三角巾の代わりにハンカチやタオルを使ったり、レジ袋を使って腕を吊ったりすることを学びました。将来、教職に就こうと思っているので、子どもたちの命を救えるように今回学んだことは実際に行えるようにしようと思いました。

(5)健康支援(食育・献血・健康相談等)系活動

献血の呼びかけ： デザイン学科 3年

献血活動を行い、献血に協力できる人は、限られていることを知りました。今回の呼びかけでは、呼びかけパネルを持ちながら呼びかけを行いました。

そのパネルには、18～65歳、40KG以上の方対象という表記があり、とても驚きました。思っていたよりも年齢、体重制限の幅がせまく、実際に、私はもう80だから協力できないわ、と言っていたり、体重が足りないと言っている高校生がいました。血液不足が問題となりつつある今、協力できる人が、積極的に行動する必要があると強く感じました。呼びかけを通して、若い私達世代の人を動かすことができるように、呼びかけボランティアをすることはとても大切なことだと思います。今後、時間がある時には、また呼びかけを行い、若い世代に興味をもってもらえるようにしたいなと思いました。

レンチンレシピ： 管理栄養学科 3年

レシピを考える過程は自分にとってとても勉強になりました。旬の野菜や免疫力を高める食材は何か、レンジで作れる料理にはどんなものがあるか、愛知はどんな食材を沢山生産しているのかなどを調べました。試作も何回も行いました。自分が想像したように上手いかず、レシピも途中で変えました。レンジではあまり美味しく調理できない食材もあり、食材選びも重要であると分かりました。どんな調味料を使って味付けをするかも、分量も自分で決めなくてはいけないため、色々なレシピを参考にしながら決めました。食材の重量を決める

ことも、G の感覚をつかむためのよい機会になったと思います。レシピを作るには、味だけでなく見た目、手軽さ、面白み、コンセプトなど色々なことを考えなければいけないと実感し、とても難しいことなのだと分かりました。この経験により、今後レシピを見る際に色々な着眼点をもつことができるのではないかと思います。

(6)地域活動(まちづくり・地域イベント・観光案内等)系活動

マラソンフェスティバル： 管理栄養学科 1年

マラソンフェスティバルのボランティア活動を通して、大規模イベントの運営について学ぶことができた。この活動は、大会の開催前から大きな会場を利用した研修会が開かれるなど、当日、安心・安全なレースが行うことができるよう、念入りの準備があった。また、研修会には多くの人に参加しており、数日に分けて行われるほどであった。この研修会に参加したことや、過去のボランティア映像を見たことにより大規模イベントの運営やボランティアとして参加することに興味を持ち、今後も関わっていきたいと思った。

7. 防災人材育成プログラム

2020 年度に、防災人材育成プログラムが企画・実施されました。

(1)本プロジェクトについて

平成 26(2014)年 11 月 13 日に本学は日本赤十字社愛知県支部と連携協力に関する協定書を締結、協定に基づき日本赤十字社が行う救急法・幼児安全法・健康生活支援講習などの各種講習を SL センターが企画し共同し実施してきました。日進キャンパスで年に 1 回開催される消防訓練では救急法のデモンストレーションを日本赤十字社愛知県支部に協力要請してきました。

防災活動には災害時に活躍できる「防災人材」の養成が重要課題とされています。そこで、SL センターでは、2020 年度に日本赤十字社愛知県支部と共同して、防災人材の育成を行う SLC プロジェクトを実施しました。

名称は「名古屋学芸大学 防災人材育成プログラム」としました。

(2)概要

日本赤十字社愛知県支部と名古屋学芸大学との共催企画として、大学が企画、開催場所の提供を行い、日本赤十字社愛知県支部の行う防災研修事業を本学で実施しました。

(3)目的

防災人材の育成

(4)参加者(参加募集対象者)

- ・ 本学の教職員及び学生
- ・ 日進市に在住・在勤の方(18 歳以上)
- ・ 定員:各講座、最大 50 人程度としていましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて、最大 20 名としました。

(5)開催場所

本学 6 号館 621 栄養教育実習室等

(6)開催計画と実施回数(2020,2021 年度)

2020 年度は、一講座 90 分、前期 2 回(6月・9 月)、後期 2 回(11月・2月)の全 4 回の開催を計画しました。(表 6-1) 2021 年度は、一講座 120 分、前期 3 回(5月・7 月・9月)、後期 3 回(11 月・2 月 3 月)の全 6 回の開催を計画しました。(表 7-1)

表6-1 2020年度 防災人材育成プログラム内容(計画・実施)

日程 会場 回・テーマ	内容	講座の概略
<p>6月20日(土) ※新型コロナウイルス感染症感染拡大により、 9月19日(土)に変更 1限(9:40~11:30) 名古屋学芸大学</p> <p>1.災害の全体像を理解し、災害時の諸状況を前もって予測する (災害エスノグラフィー:災害時の追体験)</p>	<p>大規模災害の被災者の経験を書き留めた読み物を通して、受講者が災害を体験することで被災の具体的なイメージをする。</p>	<p>①防災事業について ②赤十字防災セミナー 「災害エスノグラフィー」:読み物による過去の災害の追体験 災害エスノグラフィーを読み心に残った箇所を、グループで話し合う。(個人・グループワーク 90分) ③救護資材等の展示(赤十字が県民からの社資(寄付)により、日進市に配備している救護資材)</p>
<p>9月19日(土) ※新型コロナウイルス感染症感染拡大により、 11月28日(土)に変更 1限(9:40~11:30) 名古屋学芸大学</p> <p>2.防災意識を高める (DIG:地図を見ながら災害をイメージする)</p>	<p>DIG(Disaster Imagination Game) グループで話し合いながら災害時のイメージを地図上に記載する。</p>	<p>①防災事業について ②赤十字防災セミナー DIG:地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所の把握・理解し、個人や地域で予め行うべきことを検討する。(グループワーク 90分) (名古屋学芸大学周辺・上社駅周辺・赤池駅周辺を検討予定とする) ③救護資材等の展示(赤十字が県民からの社資(寄付)により、日進市に配備している救護資材)</p>
<p>11月28日(土) ※新型コロナウイルス感染症感染拡大により、中止 1限(9:40~11:30) 名古屋学芸大学</p> <p>2.災害の知識と行動力などを育む・災害の対応力を身に付ける (ぼうさいまちがいがし・いえまですごろく・まもるいのちひろげるぼうさい)</p>	<p>②幼児向け ③小中学生向け ④小学生高学年向け 幼児・児童・生徒向けプログラムの実践。</p> <p>※教員・幼稚園教諭・保育士を目指す学生は是非参加してください。</p>	<p>①防災事業について ②ぼうさいまちがいがし きけんはっけん:1枚のイラストに様々な危険な箇所が盛り込まれている。(20分) ③いえまですごろく:帰宅時に災害にあったらどうするか。途中で遭遇するハプニングへの対応を考えることで、災害の対応力を考え身に付ける。(40分) ④防災教育事業 まもるいのちひろめるぼうさい: 知識と行動力、他者への思いやりや優しさ、いのちの大切さを学び取る力を育む演習。(個人ORグループワーク 30分) ⑤救護資材等の展示(日進市に配備している資材)</p>
<p>2月13日(土) ※新型コロナウイルス感染症感染拡大により、※新型コロナウイルス感染症感染拡大により、 9月19日(土)に変更 1限(9:40~11:30) 名古屋学芸大学</p> <p>4.避難所における支援を身に付ける (災害時高齢者支援講習短期講習)</p>	<p>災害時高齢者支援講習短期講習:避難所における高齢者支援</p> <p>※介護施設等の就職を目指す学生は是非参加してください。</p>	<p>①防災事業について ②赤十字講習会 災害時高齢者支援講習短期講習:避難所における高齢者支援。修了者に受講証。(90分) ③救護資材等の展示(日進市に配備している資材)</p>

※2021年度の本格的な実施に向けて、2020年度は試行期間とした。

2020年度の防災人材育成プログラムは新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて、開催計画を変更し9月19日(土)に災害エスノグラフィー、11月28日(土)にDIGを開催しました。各回開催会の参加人数と属性を表6-2に示しました。

表 6-2 2020 年度防災人材育成プログラム参加者の属性及び参加者数(人)

2020 年防災人材育成プログラム	学生	教職員	一般	計
災害エスノグラフィー	5	1	8	14
DIG	7	1	11	19
合計	12	2	19	33

2021 年度はコロナ流行により 3 回の開催となりました。各回開催回の参加人数と属性を表 7-2 に示しました。

表7-1 2021 年 防災人材育成プログラム内容(計画・実施)

日程 会場 回・テーマ	概要	プログラムの概略
5月29日(土) ※新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて7月10日(土)に変更 9:40~12:50 名古屋学芸大学 1. 災害の全体像を理解し、災害時の諸状況を前もって予測する (災害エスノグラフィー:災害時の追体験)	大規模災害の被災者の経験を書き留めた読み物を通して、受講者が災害を追体験することで被災の具体的なイメージをする。 2020 年度実施	①防災事業について ②赤十字防災セミナー 「災害エスノグラフィー」:読み物による過去の災害の追体験 (災害エスノグラフィーを読み心に残った箇所を、グループで話し合う。(個人・グループワーク)) ③救護資材等の展示(赤十字が県民からの社資(寄付)により、日進市に配備している救護資材)
7月10日(土) ※新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて10月23日(土)に変更 9:40~12:50 名古屋学芸大学 2. 防災意識を高める (DIG:地図を見ながら災害をイメージする)	DIG(Disaster Imagination Game) グループで話し合いながら災害時のイメージを地図上に記載する。 2020 年度実施	①防災事業について ②赤十字防災セミナー DIG:地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所の把握・理解し、個人や地域で予め行うべきことを検討する。(個人・グループワーク) (名古屋学芸大学周辺・上社駅周辺・赤池駅周辺を検討予定とする) ③救護資材等の展示(赤十字が県民からの社資(寄付)により、日進市に配備している救護資材)
9月25日(土) ※新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて11月27日(土)に変更 9:40~12:50 名古屋学芸大学 3. いのちをまもる・つなぐ(救急法短期講習) (新型コロナウイルス感染症感染拡大においては、オンラインで実施)	傷病者の観察の仕方及び一次救命処置(心肺蘇生法、AEDを用いた除細動) ※心肺蘇生法は災害時のみならず、日常においても必要な知識技術です。	①防災事業について ②赤十字講習会 救急法短期講習:傷病者の観察の仕方及び一次救命処置(心肺蘇生法、AED を用いた除細動)修了者に受講証。 ③救護資材等の展示(日進市に配備している資材)

11月27日(土) ※新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて中止 名古屋学芸大学 4. 子どものいのちをまもる・つなぐ(幼児安全法短期講習)	小児・乳児の心肺蘇生とAEDの使い方、身近なものを使った応急手当 ※心肺蘇生法は災害時のみならず、日常においても必要な知識技術です。	①防災事業について ②赤十字幼児安全法講習：小児・乳児の心肺蘇生とAEDの使い方、身近なものを使った応急手当 修了者に受講証。 ③救護資材等の展示(日進市に配備している資材)
2月26日(土) ※新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて中止 名古屋学芸大学 5.避難所における支援を身に付ける (災害時高齢者支援講習短期講習) (新型コロナウイルス感染症感染拡大においては、オンラインで実施)	災害時高齢者支援講習短期講習:避難所における高齢者支援 ※介護施設等の就職を目指す学生は是非参加してください。	①防災事業について ②赤十字講習会 災害時高齢者支援講習短期講習:避難所における高齢者支援 修了者に受講証。 ③救護資材等の展示(日進市に配備している資材)
3月12日(土) ※新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて中止 名古屋学芸大学 6.まとめ 2021年度防災人材育成プログラムのまとめとふりかえり	災害時に支援された方の講演等	①防災事業について ②起震車体験や愛知県で起こった様々な災害に対応された方のご講演を通して、再度、自分事化を期待するとともに学びの定着と期待する。 ③救護資材等の展示(日進市に配備している資材)

※内容・日程については、新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて担当者打ち合わせで随時決定しました。

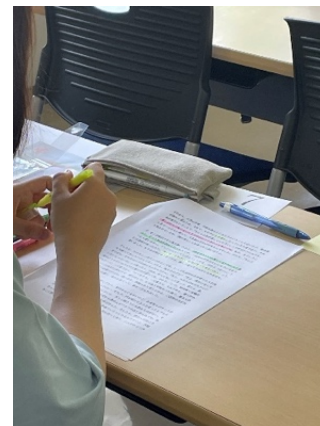
表7-2 2021年度防災人材育成プログラム参加者の属性及び参加者数(人)

2021年防災人材育成プログラム	学生	教職員	一般	計
災害エスノグラフィー	6	1	2	9
DIG	7	0	2	9
赤十字救急法短期講習	8	0	7	15
合計	21	1	11	33

①「災害エスノグラフィー」(2021年7月10日)



災害エスノグラフィーの読み進め方についての説明



災害エスノグラフィーを読み、気づいた点など下線を引いていく

②「DIG」(2021年10月23日)

※DIGとは、グループで話し合いながら災害時のイメージを地図上に記載する。

(Disaster Imagination Game の頭文字)で、地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所を把握・理解し、個人や地域で予め行うべきことを検討します。



災害やDIGの進め方についての説明



地域の地図に、防災マップ上の危険箇所や避難場所などを色分けしつつ記入していく

(7) 参加学生数

防災人材育成プログラムに参加した学生の参加者数を表8に示します。

表8 学部学科学年別講習会参加者数(人)

学部	学科	学年	2020年度 2回開催	2021年度 3回開催
管理栄養学部	管理栄養学科	4年生	0	0
		3年生	5	0
		2年生	2	0
		1年生	0	0
ヒューマンケア学部	子どもケア学科	4年生	0	0
		3年生	5	0
		2年生	0	2
		1年生	0	13
メディア造形学部	映像メディア学科	2~4年生	0	0
		1年生	0	3
	デザイン学科	3~4年生	0	0
		2年生	0	2
		1年生	0	0
	ファッション学科	1~4年生	0	0
看護学部	看護学科	2~4年生	0	0
		1年生	1	1
		合計	13	21

8. スキルアップ講座等

2020 年度は、感染対策のため学生は遠隔授業等が増えました。各ボランティア機関でも感染対策を講じることを最優先にしていました。そのため、ボランティアの要請も学生のボランティアの参加希望もほとんどない状態でした。

しかし、社会全体としてもオンラインでの学びが広がり、ボランティアスキルを高めることができるシンポジウムや講座等もオンラインで受講できる機会が増えてきました。学生らが直接人と関わりボランティア活動に出かけることは困難な状況でしたが、オンラインでボランティアに関する学びができる機会が与えられたことから、SL センターの HP を通じ「スキルアップ講座等」の紹介をスタートさせました。

2021 年度は年間で 30 件の学ぶ機会を紹介、HP に掲載しました。東日本大震災から 10 年の節目でもあり、防災に係る講座等が多く開催されました。

9. 復興支援活動

(1) 復興・創生インターン

東日本大震災から 10 年が経過したことを機に、復興庁が行っていた復興・創生インターンの募集はされなくなり、2021 年度はインターンの派遣は行われませんでした。

(2) 学べる被災地での地域コミュニティづくり

「学べる被災地での地域コミュニティづくり」は南三陸町志津川地区の清水団地住民と協議のうえ終了することとなりました。

(3) みなみそうま SL

みなみそうま SL 活動は、学べる被災地での地域コミュニティづくり活動につづく復興支援活動として企画され 2020 年度からの実施に向けて、2019 年 2 月に学生、教員により視察を行いました。しかし、2020 年度はコロナ感染拡大の影響で活動を行うことができませんでした。そこで、SL 活動をオンラインで行うことを試みました。2021 年 3 月、南相馬市役所と ZOOM 会議を行い、現地に行けない状況であっても何かできることがあるのではないかと、議論し情報交換を行いました。

2021 年 5 月末から 6 月上旬にかけて SL 活動に参加する学生を募集し、南相馬市役所と ZOOM 上で表 9 に示す活動を行いました。

表9 みなみそうま SL 活動概要

2021 年度みなみそうま SL
<p style="text-align: center;">みなみそうま SL 概要</p> <p>みなみそうま SL 活動は、学べる被災地での地域コミュニティづくり活動に続く復興支援活動として2019年度に企画された本学独自の活動です。2020年2月、学生・職員7名が南相馬市で視察を行いました。コロナ感染拡大を受け、活動休止を余儀なくされました。2021年度は感染対策も定着しワクチン接種も進んだことから、参加者を募り ZOOM と対面の併用で活動を行いました。</p>
<p style="text-align: center;">みなみそうま SL 活動報告</p> <p>○みなみそうま SL 説明会(ZOOM)日程・説明者</p> <p>5月31日・6月1日 (5限目) 塚原先生 6月2日・6月3日 (5限目) 富安先生</p> <p>○参加者 18名</p> <p>映像メディア学科1名 子どもケア学科1名 管理栄養学科 16名</p> <p>○サポーター(視察参加学生)</p> <p>管理栄養学科 2名 デザイン学科 2名</p> <p>○ミーティング日程 / 参加者</p> <p>第1回 6月16日(水)5限 顔合わせ会 ボランティア内容希望 / 学生・教員 学生の希望活動から4班にグループ編成をしてボランティア活動を進めることとなった。 SNS班:南相馬市の魅力を SNS を使って広く知ってもらおう。 お魚班:南相馬市で獲れる魚介と名古屋の味噌を使ったパエリアのレシピ開発。食材のパッケージ販売を提案。 お野菜班:南相馬市の特産品の野菜(ロマネスコ・黄色いかぼちゃ)を利用した、天むすのレシピ開発。 お米班:南相馬市産のお米「天のつぶ」を使ったいろいろのレシピ開発(米は米粉にして使用)。また、米粉クッキーのレシピ開発。</p> <p>第2回 7月7日(水)5限 ボランティア実施内容の提案とアドバイス / 南相馬市役所職員 学生・教員</p>

第3回 8月3日(火) 3・4・5限

ボランティア内容 グループワーク ピアアドバイス / 学生・教員

第4回 8月26日(木)5限

活動進捗報告会 / 南相馬市役所職員 学生・教員

第5回 10月12日(火)5限

大学祭参加説明 進捗状況報告 試食 / 学生・教員

※南相馬市様から南相馬市産天のつぶ(米)20 kg及び天のつぶパック米1箱を頂く。

○大学祭で活動動画配信 10月30日(土)31日(日)

※「天のつぶ」パック米を食べての感想の集計を行い、南相馬市にリターン

○ちよこっと学習会(東日本大震災の被害状況・復興状況・食の問題などの学習会) 12月14日(火)5限・15日(水)5限

第6回 1月27日(木)5限

成果発表 / 南相馬市役所職員・学生・教員

○今後の活動

試作・商品開発継続すると同時に、2022年度日進市わいわいフェスティバル(7月2日(土))の参加に向けて、説明会(2月10日(木))に参加。加えて、ぼうさいこくたい2022in兵庫・神戸(10月22日(土)23日(日))に参加予定。

(4)復興支援活動報告会

これまで、復興・創生インターンに参加するには事前連絡会及び事前学習会に参加すること、そしてレポート提出と課題発表を必須条件としてきました。加えて2018年度以降は復興・創生インターンの現地コーディネータが行う学内説明会及びインターン参加者の行う報告会に参加することも条件に加えしました。

同様に、「学べる被災地での地域コミュニティづくり」と「みなみそうまSL」の活動において、東北支援活動報告会への参加、事前連絡会及び事前学習会の参加、レポート提出、課題発表を参加の必須条件とし、参加の手続きとして、SL登録、SL参加申込書、ボランティア保険(自然災害特約含)の加入、緊急連絡先の提出を義務づけています。参加後は、課題や感想、活動報告をSLセンターに報告すると同時に、活動成果をパネル、パワーポイント等を用いたスライドショーにまとめ、学内外で発表してきました。

しかし、2020年度以降、コロナ感染拡大のため「みなみそうまSL」は、学内活動のみとなり、南相馬市との意見交換はオンラインで行いました。学内活動の報告はパワーポイントを作成しプレゼンを行ったり考察したメニューなど報告に限定されていました。2022年度の「みなみそうまSL」の参加学生説明会で、これまでの報告を紹介することとしました。活動を紹介したパネルをP.31-P.36に掲載しました。

SL センターは「ぼうさいこくたい」(内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議が主催)に 2019 年度から学生を派遣しています。2021 年度は岩手県で「ぼうさいこくたい 2021」が開催されました。

2019 年度以降の「ぼうさいこくたい」参加概要を表 12 に示しました。

表 12 「ぼうさいこくたい」の参加概要

日時	報告内容	場所	対象	備考
2019 年 10 月 19 日(土) 20 日(日)	復興・創生インターン 2018 年夏期・2019 年 春期 学べる被災地での地 域コミュニティづくり	愛知県名古屋市 ささしまライブエリア	一般市民	ぼうさい こくたい 2019
2020 年 10 月 3 日(土)	復興・創生インターン 2020 年春期 みなみそうま SL	広島県広島市 オンライン	一般市民	ぼうさい こくたい 2020
2021 年 11 月 6 日(土) 7 日(日)	復興・創生インターン 2020 年春期 本学の 10 年間の東 北支援活動	岩手県釜石市 釜石市民ホール TETTO	一般市民	ぼうさい こくたい 2021


2021年度 みなみそうま SL

地域発信の食育

～みなみそうまの農産資源ブランディングプロジェクト～

管理栄養学部 管理栄養学科 2年生 柳井陽奈・早瀬まり代・野田千咲子 森本ゆき乃・木野朱音	管理栄養学部 管理栄養学科 1年生 二村菜智・桂川真弓子・長田侑夏・平木悠花・寺林穂ノ果 大倉明日香・伊藤咲良・高木菜月・近藤祐菜・服部綾乃・前田理子
メディア造形学部 映像メディア学科 3年生 小林慶二郎	ヒューマンケア学部 子どもケア学科 1年生 北村茉愛

1. 目標

- 食、育み、創造の三本柱を生かした連携の学修機会を得る
- 地域課題解決を通して、専門領域の学びを生かした人間教育を行う
- ローカルエコノミー、シビックプライドなどコミュニティデザインの実践を学ぶ
- 南相馬の農産物をブランディングで活性化させる
- 地域そのものの魅力を最大化させる
- 消費の作法、楽しみの提案、世代間の連携など、野菜で新しい社会価値を創造する
- 地域のありようを考える機会を住民に提供する

2. 活動地域



3. 南相馬市の被災状況と現在

震災・被災等の概況

- 3月11日 14:46 震度6弱の地震発生
- 3月11日 15:35頃 津波到達
- 3月12日 5:44 福島第一原子力発電所から半径10km圏内の住民に避難指示
- 3月12日 18:25 福島第一原子力発電所から半径20km圏内の住民に避難指示
- 3月15日 1:00 福島第一原子力発電所から半径20km以上30km圏内の住民に外出せず、自宅など屋内待機を指示
- 3月15日～25日 市がバスで集団避難を誘導
- 4月21日 11:00 福島第一原子力発電所から半径20km圏内を警戒区域に指示
- 4月22日 9:44 福島第一原子力発電所から半径20km以上30km圏内に指示していた屋内退避を解除、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域設定

被害の状況

- 人的被害（平成23年6月30日現在）
- ・死者 588人
 - ・行方不明者 87人
 - ・負傷者 59人（重傷者 2人、軽症者 57人）
- 家屋被害（平成23年5月31日現在）
- 津波被害家屋世帯数 1,509 世帯

現在の区域設定状況（令和4年3月10日更新）

- 特定避難勧奨地点（平成26年12月28日解除）
 - 避難指示解除準備区域（平成28年7月12日解除）
 - 居住制限区域（平成28年7月12日解除）
 - 帰還困難区域
- 東日本大震災の犠牲者らを悼むため、福島県南相馬市が整備したメモリアルパークが2021年4月24日、同市原町区の北泉海岸近くにオープンした。津波と東京電力福島第1原発事故で被災した市の中心的な追悼施設。南相馬市では津波で636人が死亡、原発事故も含めた関連死は520人に上り、合わせて1,156人が犠牲。津波で流された集落の跡地を約10メートル盛り土して1.6ヘクタールの公園として整備、犠牲者807人の名を刻んだ碑などを建設した。
- 令和4年3月16日の深夜に起こった「令和4年3月16日23時36分頃の福島県沖の地震」では、宮城県と福島県で最大震度6強、岩手県と山形県で最大震度5強を観測した。南相馬市でも最大震度6強を観測し、鹿島区を中心に停電や断水が発生し、道路の亀裂やブロック塀の崩落等の被害があった。市は給水活動や飲料水の配布、入浴施設の無料開放を行っているほか、ブルーシート、土のう袋等を配布する等の対応にあたった。

参考：https://www.city.minamisoma.lg.jp/material/files/group/7/01-05shiyou2.pdf 2022.04.19 閲覧 引：https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/26-3.html 福島県HP 2022.04.19 閲覧
 https://kahoku.news/articles/20210424kh000055.html 2021年4月25日6:00配信
 河北新聞 on-line news 「南相馬市メモリアルパーク完成 震災と原発事故の犠牲者悼む」 2022.04.19 閲覧
 https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/safety/bossal/r40316_earthquake/saigai/17747.html 南相馬市HP 2022.04.19 閲覧

4. 活動経過

2021年

- 5月21日（金）～学生募集
- 5月31日（月）、6月1日（火）、6月2日（水）、6月3日（金）
みなみそうまSL説明会を実施（担当教員）。
- 6月16日（水） 第一回ミーティング
「私たちにできること、私たちがしたいこと」の発表と班分け。
- 7月8日（木） 第二回ミーティング
南相馬市役所の皆様とZoomでつなぎ、自己紹介の後、班ごとにやってみたいことについてPPを使い発表。
- 8月3日（火） 第三回ミーティング
みなみそうま提案前プレミーティング。班ごとの「ループワーク」での企画をPPにまとめる。
企画案を南相馬市役所の皆様にプレプレゼンを実施。
- 8月26日（木） 第四回Zoomミーティング
南相馬市役所の皆様に企画案の修正および活動報告。
- 10月11日（月）
南相馬市産米「天のつぶ」購入。

- 10月12日（火） 合同祭参加説明会
合同祭で南相馬の魅力を紹介する動画を配信についてSLセンターから説明を行う。
- 10月18日（月）
南相馬市様から南相馬市産米「天のつぶ」20kgを頂く。
- 10月23日（土）
南相馬市様から南相馬市産米「天のつぶ」を用いたパック米36個頂く。
- 10月25日（月）
南相馬市産米「天のつぶ」を米粉に加工。
- 10月30日（土）・31日（日）
名古屋学芸大学・名古屋外国語大学合同祭
みなみそうまSLの活動紹介動画をYouTube配信。

2022年

- 1月27日（木） 第五回Zoomミーティング
南相馬市役所の皆様に参加いただき、2021年度の活動報告を行う。

5. 実際の活動

18名の参加学生が4つの班(お米・お野菜・お魚・SNS)に分かれ、食を通じた南相馬市の魅力を発信した。

お米班の活動	お野菜班の活動	お魚班の活動	SNS班の活動
<p>活動タイトル 「色々な南相馬市のご当地天むすを作ってみよう」</p> <p>お米グループ</p> <p>1. 目的 南相馬の天のつぶを知ってもらう</p> <p>2. 方法 寄附で制作し、名古屋学芸大学・名古屋外国語大学学生に「天のつぶ」を配布してもらう</p> <p>3. レシピ案</p> <p>①おんこ</p>	<p>活動タイトル 「色々な南相馬市のご当地天むすを作ってみよう」</p> <p>ねらい</p> <p>名古屋産名物「天むす」とは</p> <p>活動内容</p> <p>1. 料理教室を開催 2. 天むすのレシピ動画をSNSで発信</p> <p>1. 料理教室の開催</p>	<p>南相馬市と愛知県のコラボ食品</p> <p>味噌</p> <p>作りか(4人分)</p>	<p>SNS班 進捗報告</p> <p>Twitter</p> <p>Twitter</p> <p>Twitter</p> <p>Twitter</p>

5. 実際の活動

南相馬市産のお米「天のつぶ」や野菜・魚介を使ったレシピ紹介

お米班

〇ういろう

愛知の名物ういろう。

材料（一竿）

- ・米粉 …………… 120g
- ・水 …………… 260g
- ・砂糖 …………… 100g
- ・塩 …………… ひとつまみ



つくり方

- ① 材料をすべて鍋で溶かしてから中火にかけ、混ぜながらもったりするまで加熱する。この間に蒸し器を火にかける。
- ② 水で濡らすか、シートを引いた型に①を流し入れて、湯気の上がった蒸し器で20分蒸す。（強火で）
- ③ 好みの固さになったら蒸し器から出す。（鍋に冷水を入れて型ごとつけると早く冷める）

〇米粉クッキー

材料（1パッケージ）

- ・米粉 …………… 100g
- ・バター …………… 30g
- ・メープルシロップ …… 30g
- ・全卵 …………… 26g
- ・つや出し用卵 …… 適量



つくり方

- ① ボールにバターとメープルシロップを量り入れる。湯煎にかけてバターを溶かす。
- ② 湯煎から外して全卵を加えてよく混ぜ合わせる。
- ③ 米粉を加えて混ぜ合わせ生地をまとめる。
- ④ ラップに生地を乗せる。生地を1つにまとめて生地同士をしっかりとつける。
- ⑤ 生地を5mmの厚さに麺棒でのばす。
- ⑥ 型で生地を抜いたり、表面に模様をつける。
- ⑦ クッキーの表面につや出し用卵を3度塗りする。
- ⑧ 180℃に予熱したオーブンで15分焼く。

お野菜班

〇天むす

名古屋名物「天むす」とは

海老の天ぶらを具にしたおにぎりで、名古屋めしのひとつである。一般的なおむすびの半分くらいのサイズで、上皇美智子様のストールの巻き方にあやかった海苔の巻き方が特徴。



材料（5種類1つずつ）

- ・天むすノかぼちゃ …………… 40g
- ・ブロッコリー …………… 1房
- ・ロマネスコ …………… 1房
- ・たこ …………… 10g×2～3
- ・海老 …………… 1尾
- ・ごはん …………… 40g×5
- ・てんぷら粉
- ・冷水
- ・焼きのり …………… 5枚
- ・揚げ油
- ・タレノめんつゆダレ（めんつゆ）
- ・片栗粉
- ・味噌ダレ（相馬田舎みそ） …… 大さじ2
- ・砂糖 …………… 大さじ1
- ・酒 …………… 大さじ1
- ・みりん …………… 大さじ1/2

つくり方

- ① 野菜、海老、たこを切る。
- ② てんぷら粉と冷水を混ぜる。
- ③ ②に野菜、海老、たこをくぐらせる。
- ④ 揚げる。
- ⑤ 揚げあがった具材は油を切り、冷ます。
- ⑥ 出来上がった天ぶらをごはんで包み、おにぎりの形にする。（上から具材が出るようにする。）
- ⑦ のりを前で襷巻の様に交差させて巻く
- ⑧ めんつゆダレ、味噌ダレの材料をそれぞれ混ぜる。
- ⑨ できたタレを具材の前にかける。

お魚班

〇バエリア

注目してもらえるように愛知の味噌と南相馬の魚介をコラボさせた。

コロナ禍なので家で食事をすることが増えた今、家族のみんなで楽しめるレシピを考えた。

材料（4人）

- ・天のつぶ …………… 3合
- ・赤みそ …………… 大さじ2
- ・あさり …………… 140g
- ・ホッキ貝 …………… 60g
- ・えび …………… 120g（3尾）
- ・鮭 …………… 80g
- ・顆粒だし …………… 小さじ1/2
- ・レモン …………… 1/2
- ・ブロッコリー …… 85g（1/2）
- ・玉ねぎ …………… 90g（1/2）
- ・パプリカ …………… 75g（1/2）
- ・にんにく …………… 1片
- ・オリーブオイル …… 大さじ3
- ・濃口しょうゆ …… 25ml
- ・本みりん …………… 25ml
- ・水 …………… 450ml

つくり方

- ① えびを塩水でよく洗い、爪楊枝で背ワタを取る。
- ② パプリカを炒め、ブロッコリーを茹でておく。
- ③ オリーブオイルでにんにくを炒める。
- ④ ③に玉ねぎのみじん切りを入れる。
- ⑤ ④にお米を入れ、透明になるまで炒める。
- ⑥ 別鍋で、顆粒だし、醤油、みりん、味噌、水を温める。
- ⑦ ⑤に⑥のだしを入れる。
- ⑧ えびやあさりなどの魚介類を並べる。
- ⑨ 中火で20分炊く。
- ⑩ パプリカ、ロマネスコを並べる。
- ⑪ 10分くらい蒸らす。

6. 参加者の声（お米班）

管理栄養学科 1年生 大倉明日香

参加当初は、震災後の東北の発展に少しでも力になりたいと考えていました。参加して南相馬市の職員の方のお話を伺ったり、南相馬市の現状などについて調べてみると、相馬野馬追という伝統文化や南相馬市オリジナルのお米の発売、特徴的な形のロマネスコの生産など様々な方向からの発展を目指して活動していることを知りました。その活動を愛知からも発信できればより多くの人に南相馬市のことを知ってもらえそうと考え、愛知の名品いろいろを南相馬市のお米から作ることにしました。

調理方法によって弾力や口溶けが異なるためレシピの確立には時間がかかりましたが、自分たちが学習している専門科目の知識を活用することができました。最終目標にはまだ遠いですが、南相馬市の役に立てるように今後も頑張ろうと思います。

管理栄養学科 1年生 近藤祐菜

私は以前から震災のボランティアに興味があり、大学で震災のボランティア活動を行っていることを知り、みなみそうまSLに参加しました。

私は、福島県南相馬市のお米「天のつぶ」の良さをいろんな人へ知ってもらうための活動を行いました。

実際に「天のつぶ」をJAの方に頼み、米粉にしてみらい、米粉ういろう・米粉クッキー・お米せんべいなどを作り、SNSのインスタグラムを通して活動を発信しました。いろいろは火加減や水の分量の違いで仕上がりが異なり、おいしい米粉ういろうを仕上げるまでに何回も試作を行いました。

試作では、どのように分量を変更したら弾力のあるういろうができるのか、またその時の火加減や蒸す時間によって変わるのか、などみんなで話し合いながら楽しく試作を行いました。活動内容をパワーポイントにまとめて資料を作成したり、短い動画を作ったり大変な部分もありましたが、この活動を通して自分の成長を感じることができました。

管理栄養学科 1年生 伊藤咲良

みなみそうまSLに参加して、南相馬市の特産品や地域の伝統など多くの魅力を知ることができました。自分たちで調べだけでなく、南相馬市役所の方々のオンラインミーティングで企画をプレゼンし、意見を頂いたことは、コロナ禍でできる貴重な経験でした。

お米班の活動では、分量や加熱時間を変えて何度も試作をしました。一つ変えるだけでも味や食感、見た目など仕上がりが大きく変化し難しさを感じますが、「次はこうしよう」と話し合いながらの試作はとても楽しかったです。

みなみそうまSLは、自分たちでやりたいことを企画し、意見やサポートを頂きながら実現できるのが魅力です。班ごとに企画するので、ミーティングで他の班のプレゼンを聞くのも面白いです。

来年度のみなみそうまSLでは、班ごとで考案したものを学内で販売したり南相馬市の方々に食べて頂いたりする機会を設け、愛知と南相馬市どちらの魅力も伝えられるきっかけにできたらと思います。

管理栄養学科 1年生 服部彩乃

私たちはお米班として南相馬SLで、福島県南相馬市のお米「天のつぶ」の良さをいろんな人へ知ってもらうための活動をしています。

主な活動内容は、南相馬市の調査、お米を使ったレシピの考案、試作、SNSでの紹介、お弁当コンテストへの参加などです。どうしたらお米の良さが活かせるか、どういったものを作って、どういった風に投稿すれば皆さんに知ってもらえるか、など考えることはたくさんあります。

慣れないことばかりで大変ですが、仲間とたくさん考えて行った試作がうまくいったり、投稿が好評だととても嬉しいです。

お弁当コンテストでは南相馬市をたくさん調べて考えて作った結果、審査員特別賞をいただきました。このように大変さもありますが、生徒主体でなかなかできない体験をさせていただき、やりがいを感じています。

このコロナ禍でなかなか現地にはいけません、この状況だからこそ私たちができることを考えて活動していけたらなと思っています。

管理栄養学科 1年生 高木菜月

SLの活動を通して、考える力や実現力がついたと思います。

コロナ禍で直接会って話をできない分、自分達が見たいと思ってることをどのように伝えれば伝わるのかを皆で考えてリモートで会議をしました。

自分達の意見に賛成してくれたり、「ぜひしてほしい」と言ってくれて頑張ってくれた甲斐があったなと思いました。

また、南相馬のお米を使ったスイーツやお菓子を試作しました。

試作案を考えているときは、「こうしたい」と案がたくさん出てきましたが実際作ってみると思うようにできないことの方が多かったです。

ですが、失敗するたびに分量や材料を変えたりして作りたいものを作れたときは凄く嬉しかったです。

実際、南相馬に行って現地の人と交流できる日が早く来てほしいなと思います。

管理栄養学科 1年生 前田理子

私はみなみそうまSLに参加し、初めて南相馬市を知りました。

初めは南相馬市について何も知りませんでした、ネットで調べたり、zoomで実際に南相馬市の方にお話を聞いたりすることで魅力をたくさん知ることができました。

私はお米班として南相馬の「天のつぶ」を使用したレシピの考案をしたり、試作したりしています。例えば、名古屋の名物であるういろうを天のつぶを使用して作ってみたり、米粉のクッキーやお米のせんべいを作ってみたりしました。

もちろんネットにレシピが載っているものもありますが、そこから自分たちでどうすればより理想的なものになるのか試行錯誤していく過程がとても楽しかったです。

こうやって自分たちが勉強している分野を活かして、遠くの人とも繋がること出来ることはとても素敵なことだと実感しました。

6. 参加者の声 (お魚班)

管理栄養学科 1年生 桂川真弓子

私は初めて他の県の方々と繋がるボランティアを経験しました。南相馬市の方々とズームで情報を共有し、お話することは大変有意義な時間でした。私は魚班を担当し、実際に特産品や伝統を調べ、愛知県と南相馬市を組み合わせるレシピを考えました。試作ではお米や味噌を変えたり、味比べが楽しかったです。

この1年間お米班、魚班、野菜班、情報班の各班が個性を出し、お互いに発表、共有して素晴らしいレシピが出来ました。

今回の南相馬SLを通して、社会貢献に少しでも携われたことがとても嬉しいです。コロナが収まり、今後南相馬市に訪れる日が楽しみです。

南相馬市のSLが大学での初めてのボランティアになりましたが、初めの1歩を出すための貴重な経験になりました。

また、今までとは違う視点でボランティアができたので良い経験になりました。合同祭では、南相馬市の魅力を発信することができ、少しでも多くの人に知ってもらえる事ができて嬉しかったです。

管理栄養学科 1年生 寺林穂ノ果

私はお魚班としてバリエアの作成をしました。

ボランティア活動をするまでは南相馬市のことは東日本大震災の被災地であるということしか知りませんでした。

活動の中で南相馬市の特産品や伝統を学び、愛知の特産品とコラボした料理を作ることを目標としてバリエアを考案しました。

材料からレシピまで自分たちで考え、魚介の旨味を引き出すにはどうしたら良いか、またフライパンを用いてお米を美味しく均一な硬さで炊くにはどのような方法があるかなど試行錯誤しながら試作を繰り返しました。

コロナ禍ということもあり、南相馬市の方々とZoomやメールを介してのコミュニケーションでしたが、遠く離れた土地の方や友達と協力し物事を進めることは自分にとって良い経験になりました。

管理栄養学科 1年生 長田侑夏

私はみなみそうまのボランティアに参加してたくさん学ぶことができました。

南相馬についてはボランティアに参加するまで知らないことが多く、新たな学びになりました。

活動を始めて、現地の方と交流を行ったり、みなみそうまと愛知ものコラボ料理を開発することも楽しかったです。

私たち魚班は愛知の味噌を使用したバリエアを何回も試作しました。そして開発の難しさも学びました。ですが、試作をしていくうちにいろんなアイデアが出てきて楽しかったです。

お野菜班の天むすを試食させてもらったり、お米班の投稿を見て私達も頑張ろうと影響されるなど異なる班との交流もすることができ、楽しかったです。

今後南相馬市へ実際に行き地域の方々と直接交流したいなと思いました。

管理栄養学科 1年生 平木悠花

私はこの南相馬SLが初めてのボランティア活動でした。

このボランティアに参加するまで南相馬市があること、被災時からの成長など全く知りませんでした。ボランティアを始める前に南相馬市についてしっかりと理解することはすごく重要だったなと思います。

私はお魚班として南相馬市の魚介類と愛知の味噌をコラボさせたバリエア作りを約1年かけて試作活動を行いました。

友達とどうしたら美味しく出来るか何度も試作を行いました。どうしたら多くの人に南相馬市を知っていただけるかを1番に考えることが大切だなと私は思います。

コロナ禍ではありましたが、zoomを通じて現地の方々とお話ししたり、Instagramで繋がったり、貴重な経験ができたなと思います。

これからもボランティア活動に積極的に参加していきたいです。

管理栄養学科 1年生 二村菜智

南相馬SLに参加して、とても多くのことを学びました。南相馬市について何も知らなかったのですが、知るところから始めました。

南相馬市にはとてもたくさんの特産品があることを知りました。

そのなかで私たちは南相馬市のために何が出来るかというところから考え、作り方や材料なども自分たちで考え良いものが作れるように何度も試作を重ね試行錯誤しました。1から何かを作るというのが初めてでしたが、友達と色々なことを話し合いながら作っていくのはとても楽しかったですし、1からものを作る楽しさを学びました。

私たちが思い描いていたように南相馬市の特産品を使って作れていないし、それを南相馬市に届けることも出来ていないのでまだまだです。

これからもより良いものが出来るよう、南相馬市の方に届けられるように頑張っていきたいです。

大変なことたくさんありましたが、色々なことを学べたので参加してよかったなと心の底から思います。

6.参加者の声（お野菜班）

管理栄養学科 2年生 森本ゆき乃

みなみそうまSLを通じて、今まで知ることのなかった南相馬市のことを知るきっかけになりました。もともと南相馬市がどのような町なのかは知りませんでしたが、震災による影響を受け、本来の魅力を知ってもらう機会が減っているという現状を目の当たりにして、何か力になりたいと思うようになりました。SLでは、南相馬市を訪れることはできませんでしたが、zoomを繋いで現地の方々とお話したり、自分たちなりに調べたりしたことで、南相馬市の魅力を多く知りました。私はお野菜班として活動してきましたが、南相馬市の農産物を知り、実際に調理をしたことで、南相馬市の農産物をどのように活かしていくか考え、その魅力が小規模ではありますが、発信することができました。直接的な支援することはいきませんが、日本には自分が知らない素晴らしい地域があるということを知れたので、SLに参加してよかったなと思っています。

管理栄養学科 2年生 野田千咲子

活動始めでは、現地の方のお話をさせて頂き、実際に現地を取り組まれていることやお気持ちを教えて頂き、自分のこれからの活動に責任感を感じたと共に、今後の活動に想像が膨らみ、とても楽しみな気持ちになりました。そして、名古屋の特産物である天むすと南相馬市の野菜を組み合わせようという決意を目標としました。本格的に試作をし、SLメンバー全員に試食とアンケートをして、より南相馬市の野菜の魅力が伝わる天むすになるかを試行錯誤し、レシピを完成させました。本来ならば私達が南相馬市に行き、天むすを現地の方と一緒に作る予定でしたが叶いませんでした。私たちの手でこの天むすを広めることができず悔しい気持ちですが、SNSを通して少しでも多くの方に届けることができないかなと思っています。今後南相馬市に行くことができれば、自分の目で知った南相馬市の良さを身の回りの人に伝えていきたいと思っています。

管理栄養学科 2年生 柳井陽奈

私はこの活動を通して、社会にあふれる情報に対してただ受け身でいるのではなく、自分自身で情報に飛び込み、一から考えて行動することの大切さを学ぶことができたと思います。大学祭での動画配信や新米おむすび・お弁当フォトコンテスト等に参加する機会をいただき、南相馬市の特産物であるロマネスコや黄色いハート等の野菜の魅力に触れてきました。そうした魅力をどう伝えたらよいか考えていく過程で、コロナ禍で限られた情報の中で実際に自分たちは何ができるのか、必要とされているものは何かを考える力を磨くことができたと感じています。ニュースで紹介されているような震災被害の裏側や、復興支援のために活動している人々の思いを学び、自分自身と向き合うことのできたこの経験を、今後の復興支援を考えるうえで大切にしていきたいと感じました。

管理栄養学科 2年生 早瀬まり代

お野菜班では南相馬市の香り高い天の粒と野菜を使って天むすの作成を行いました。試作をしてみて、改善点などを上げ、おむすび・お弁当フォトコンテストにも応募しました。参加賞という結果でしたが、小ぶりで座りのいい、シンプルな見た目の天むすの作成ができたことに達成感を味わうことができました。南相馬市に直接的な支援ができなかったかもしれませんが、今後、南相馬市が復興し、私自身、違うかたちで南相馬市に関わることが出来たらと思います。ぜひ、南相馬市の天の粒を食べて下さい。

6.参加者の声（SNS班）

映像メディア学科 3年生 小林慶二郎

南相馬のボランティアは僕にとって、とても良い経験になりました。南相馬のボランティアに参加させていただいた中で、とくに、南相馬に対して学生として何ができるのかをメンバーと話す工程がとても充実したものになったと思います。僕達の班は、SNS班として活動しました。南相馬と、学校とをzoomで繋いだミーティングを繰り返しながら、SNS班として、Twitterを開設したりしてネットを使ったアプローチをしていきました。また、学祭では、南相馬の魅力に10分にまとめた動画を作成しました。自分の中ではまだまだ納得いく完成にはなりませんでしたが。反省点としては、しっかりと日程の計画を立てた上で活動していくべきだったと思います。活動に参加して良かったと思う点は、自分で考えて企画し活動するまでの一連の流れを経験できたことです。

管理栄養学科 2年生 木野朱音

みなみそうまSLに参加して、11年前に発生した東日本大地震の影響やそれに伴う風評被害がまだ残っているということを知りました。感染症の影響で、なかなか現地に行けず、オンラインのみでの活動でしたが、愛知県から遠く離れた南相馬市のことを知ることができ、その地域のことを考えることができました。オンラインミーティングで得た知識をSNSなどを介して、同年代の学生に紹介し、南相馬市のことを知ってもらうという目標は思うように達成できなかったのですが、これからの活動の課題として解決していきたいです。

子どもケア学科 1年生 北村茉愛

私はみなみそうまSLに参加して、南相馬市の魅力を知ることができました。その中でも特に、南相馬市のお米『天のつぶ』の魅力を感じることができました。みなみそうまSLに参加するまでは南相馬市のお米について知らず、それ以前にお米の品種による味の違いなど気にしたこともありませんでした。ですが、オンラインで行われた合同祭でみなみそうまSLとして動画を提供させていただけることになり、私が参加していたSNS班は、『天のつぶ』や『こしひかり』、『あいちのかおり』『ゆめびりか』など全国各地のお米を食べ比べる、という企画を行いました。私を含めSNS班のメンバーは、はじめ「食べ比べしても味の違いなんてわかるのかな？」と半信半疑でした。しかし、実際に食べ比べてみると味の違いは一目瞭然で、自然に驚いた表情を動画に収めることができました。現地を訪れることはできませんでしたが、みなみそうまSLはとても良い経験になりました。

Ⅲ. 2021年度の地域連携活動データ

1. 活動件数

活動分類	連携先等		行政機関 (医療・保健機関を除く)		教育機関			医療・保健機関	企業	NPO等	専門職業人	一般市民	その他	計
			日進市	その他	大学	高、等	幼・小・中							
連携協定	0	包括的連携協定等	1	3	2	1	4	1	2					14
研究連携	1-1	共同研究・受託研究等			2		1	5	2					10
	1-2	コンサルタント・技術指導等						1						1
	1-3	各種審議会・委員会等への参画	9	46	1	1	1	4	18					80
	1-4	教員の講師派遣	1	21	7	12	4	1	6					52
	1-5	その他			1			2	1					4
研究・教育連携	2-1	協同プロジェクト(商品開発・プロモーション等)	6	4			1	6						17
	2-2	地域課題解決・地域行事協力	7	7			1	1	3					19
	2-3	産官学協同研究センターの協同プロジェクト	3	1				9						13
	2-4	その他(研究・教育連携)		1		1	1	1						4
教育連携	3-1	社会人教育(公開講座・生涯学習含む)										40		40
	3-2	職業人教育(寄附講座含む)		35		46		2	1	4				88
	3-3	地域人材の育成	1	21		5	5			5				37
	3-4	幼・小・中・高生教育	1		1	2			1				3	8
	3-5	授業に関連したボランティア(単位付与)			1								2	3
	3-6	SLC経由のボランティア	1	3	1		5						6	16
	3-7	その他のボランティア												0
その他の連携等	4	施設開放など										1		1
合 計														407

2. 活動一覧

0. 協定

番号	内 容	所属	代表者	相手先	期日
1	日進市との連携協力に関する協定	大学	杉浦康夫	日進市	2010年2月～
2	日本赤十字社愛知県支部との連携協力に関する協定	大学	杉浦康夫	日本赤十字社愛知県支部	2014年11月～
3	熊野市との連携協力に関する協定	大学	杉浦康夫	熊野市役所	2015年6月～
4	高大連携に関する協定	大学	杉浦康夫	愛知県公立高等学校校長会家庭部会	2015年7月～
5	菰野町との包括的連携に関する協定	大学	杉浦康夫	菰野町	2015年7月～
6	愛知学長懇話会による単位互換事業	大学	杉浦康夫	愛知学学長懇話会(愛知県内の単位互換事業参加各大学)	2002年4月～
7	愛西市及び愛西市農畜産業振興会との連携協定	大学	杉浦康夫	愛西市、愛西市農畜産業振興会	2017年1月～
8	(福)中日新聞社会事業団との連携協定	大学	杉浦康夫	(福)中日新聞社会事業団	2017年12月～
9	医療法人大医会との連携協定	大学	杉浦康夫	医療法人大医会	2019年3月～
10	東名古屋医師会医療介護総合研究センターとの連携に関する協定	大学	杉浦康夫	東名古屋医師会医療介護総合研究センター	2019年10月～
11	名城大学総合研究所との学術研究交流に関する協定	管理栄養学部	和泉秀彦	名城大学総合研究所	2016年4月1日～ 2024年3月31日
12	名古屋市中央卸売市場本場、(一社)名古屋中央卸売市場協会との連携協定	管理栄養学部	和泉秀彦	名古屋市中央卸売市場本場、(一社)名古屋中央卸売市場協会	2017年12月～
13	医療法人尚豊会との包括連携協定	管理栄養学部	和泉秀彦	医療法人尚豊会	2018年4月～
14	イオンモール(株)とのイオンモール長久手における産学連携に関する協定	管理栄養学部	和泉秀彦	イオンモール(株)	2021年9月～

1-1. 共同研究・受託研究等

番号	組織名	内 容	代表者		期 間
1	名古屋大学	委託研究開発費(文部科学省センターオブイノベーションプログラム)人がつながる“移動”イノベーション拠点「フレイル、認知機能低下予防プログラムの開発とコミュニティへの実装のための技術開発」	管理栄養学科	岡田希和子	2021年度
2	ホシザキ(株)	受託研究「次亜塩素酸水やUV等の殺菌効果の検討および衛生管理手法の研究」	管理栄養学科	岸本満	2021年4月～ 2022年3月
3	朝日メインテナンス工業(株)	栄養科学研究科寄附講座「食品安全マネジメントシステム(FSMS)特論」	管理栄養学科	岸本満	2021年9月～ 2022年3月
4	日本赤十字社愛知県支部	災害時の食の支援のためのキッチンカーの活用に関する研究	管理栄養学科	岸本満	2021年11月～ 2022年3月
5	(株)LIXIL	共同研究「トイレ組込み尿塩分測定装置開発に関する研究」	管理栄養学科	塚原丘美	2017年度～

6	㈱LIXILカネスエ・あーすワン	受託研究「地域生産及びメーカーの研究と発信」	デザイン学科	富安由紀子	2021年4月1日～ 2022年3月31日
7	第二鳴海西住宅管理組合	災害備蓄倉庫の配置等の診断	子どもケア学科	石原貴代	2021年7月～ 2022年2月
8	三重大学	共同研究「多職種連携カンファレンスに必要とされる看護師の能力と基礎看護教育の役割の明確化」(2019年度文部科学省科学研究費助成)	看護学科	出原弥和	2019年4月～
9	(公財)成長科学協会	ターナー症候群女性のライフスパンを通じた健康管理プログラムの作成の検討	看護学科	菅沼信彦	～2022年3月31日
10	㈱ツムラ	名古屋学芸大学看護学部看護学科に対する研究助成	看護学科	菅沼信彦	

1-2. コンサルタント・技術指導等

番号	組織名	内 容	所 属	氏 名	期 間
1	サントリーウエルネス㈱	技術指導契約:高齢者の脳の健康維持に資する食事とその評価方法に関して、専門的立場からの助言及び指導	健康・栄養研究所	下方浩史	2021年5月19日～ 12月31日

1-3. 各種審議会・委員会等への参画

番号	組織名	審議会委員等の名称	所 属	氏 名	任 期
1	学校法人名城大学	学校法人名城大学 評議員	学長	杉浦康夫	2021年4月1日～ 2025年3月31日
2	静岡県	静岡県原子力経済性等検証専門部会委員	副学長	山本一良	2022年1月1日～ 2023年12月31日
3	(公財)日本高等教育評価機構	令和3年度大学機関別認証評価 評価員	副学長	恒川孝司	2021年5月27日～ 2023年3月31日
4	日進市保険年金課	日進市糖尿病重症化予防検討会	管理栄養学科	北川元二	2021年度
5	(独)日本学術振興会	科学研究費委員会 委員	管理栄養学科	池田彩子	2008年～
6	認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク	アレルギー支援ネットワーク 理事	管理栄養学科	和泉秀彦	2009年度～
7	日進市	日進市保育施設等事故検証委員会 委員	管理栄養学科	和泉秀彦	2017年度～
8	名古屋市教育委員会	小学校給食調理等業務委託事業者評価 評価委員	管理栄養学科	岸本満	2021年4月～ 2022年3月
9	愛知県瀬戸保健所	令和3年度「食の安心・安全タウンミーティング」コーディネーター	管理栄養学科	岸本満	2021年9月9日
10	日進市農政課	日進市食育推進委員会	管理栄養学科	安達内美子	2013年10月～
11	長久手市みどりの推進課	長久手市食育推進支援会議	管理栄養学科	安達内美子	2017年3月～
12	愛知県農業水産局農政部食育消費流通課	いいともあいち運動推進協議会構成員	管理栄養学科	安達内美子	2021年3月～
13	愛知県食育消費流通課	第17回食育推進全国大会愛知県実行委員会 企画委員会 委員	管理栄養学科	安達内美子	2021年3月～
14	愛知県農業水産局農政部食育消費流通課	第17回食育推進全国大会愛知県実行委員会 委員	管理栄養学科	安達内美子	2021年3月～ 2023年3月

15	愛知県農業水産局農政部食育消費流通課	愛知県食育推進会議委員	管理栄養学科	安達内美子	2021年4月1日～ 2022年4月30日
16	(公財)愛知県農業振興基金	公益財団法人愛知県農業振興基金 評議員	管理栄養学科	安達内美子	2021年6月～
17	愛知県保険医療局健康医務部健康対策課	食生活改善支援事業検討会議 構成員	管理栄養学科	安達内美子	2021年8月1日～ 2022年7月31日
18	愛知県農業水産局農政部食育消費流通課	愛知県食育推進会議委員公募選考委員会 委員	管理栄養学科	安達内美子	2022年1月7日～ 2022年3月31日
19	愛知県教育委員会	愛知県産業教育審議会 委員	管理栄養学科	池田彩子	2015年1月～ 2023年1月
20	(公社)日本栄養・食糧学会	公益社団法人日本栄養・食糧学会 理事	管理栄養学科	池田彩子	2018年～
21	実務出版(株)	文部科学省検定教科書(高等学校家庭科)執筆・校閲	管理栄養学科	池田彩子	2018年～2022年
22	日本学術会議事務局	日本学術会議第25期連携会員	管理栄養学科	池田彩子	2020年10月～ 2026年9月
23	(独)大学改革支援・学位授与機構	学位審査会専門委員	管理栄養学科	池田彩子	2021年4月14日～ 2023年3月31日
24	愛知県教育委員会	第103回愛知県産業教育審議会	管理栄養学科	池田彩子	2022年1月28日
25	名古屋市地域環境対策部公害保険課	乳幼児アレルギー実態把握等懇談会	管理栄養学科	榎村春江	2022年2月27日
26	愛知県国民健康保険団体連合会	愛知県国民健康保険団体連合会保険事業支援・評価委員会 委員	管理栄養学科	岡田希和子	2021年4月1日～ 2022年3月31日
27	豊橋市	豊橋市民病院患者給食業務プロポーザルにかかわる評価委員	管理栄養学科	高田尚美	2021年2月～5月
28	岡崎市教育委員会	岡崎市学校給食献立作成討議会 委員	管理栄養学科	高田尚美	2021年5月14日～ 2022年3月31日
29	(公財)愛知県学校給食会	公益財団法人愛知県学校給食会 評議員	管理栄養学科	塚原丘美	2016年度～
30	東名古屋医師会 医療介護総合研究センター	在宅医療・介護連携支援センター連絡協議会 委員	管理栄養学科	塚原丘美	2018年度～
31	愛知県糖尿病療養指導士認定機構	愛知県糖尿病療養指導士認定機構運営委員会委員(研修会委員)(2021年度はオンライン開催)	管理栄養学科	塚原丘美	2019年度～
32	厚生労働省健康局	管理栄養士国家試験 委員	管理栄養学科	塚原丘美	2021年4月1日～ 2022年3月31日
33	(公社)日本栄養士会	栄養ケア・ステーション推進委員会 委員	管理栄養学科	塚原丘美	2021年6月～ 2023年6月
34	(福)日進市社会福祉協議会	日進市障害者自立支援協議会専門部会 委員	映像メディア学科	草野圭一	2021年4月1日～ 2024年3月31日
35	(公財)名古屋市文化振興事業団	ファン・デ・ナゴヤ美術展 企画委員	映像メディア学科	伏木啓	2021年4月1日～ 2022年3月31日
36	(一社)春日井観光コンベンション協会	「春日井サポテン」ロゴマーク審査委員	デザイン学科	富安由紀子	2021年6月8日
37	(財)日本ファッション教育振興協会	ファッションビジネス能力検定委員会 委員	ファッション造形学科	水嶋丸美	2022年3月～ 2023年2月
38	半田市教育委員会	半田市教育点検評価会議	子どもケア学科	浅田謙司	2021年7月13日
39	東浦町	東浦町社会福祉協議会	子どもケア学科	浅田謙司	2022年1月12日、 3月22日

40	東浦町教育委員会	東浦町総合教育会議	子どもケア学科	浅田謙司	2022年1月28日
41	文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課教育制度改革室	令和3年度市町村教育委員会オンライン協議会(ZOOM)	子どもケア学科	浅田謙司	2022年2月10日
42	日進市	令和3年度日進市保育園運営協議会 委員	子どもケア学科	石垣儀郎	2021年4月～ 2022年3月
43	日進市こども福祉部子ども課	日進市地域型保育事業設置選定 日進市民間保育所等事業者選考委員会	子どもケア学科	石垣儀郎	2021年4月～ 2022年3月
44	日進市市民協働課	にぎわい交流館運営協議会委員	子どもケア学科	石原貴代	2022年2月1日～ 2024年1月31日
45	光村図書出版(株)	中学校教科用図書「国語」編集委員	子どもケア学科	佐藤洋一	～2029年3月31日
46	名古屋市教育委員会	学校評議員(名古屋市立桜山中学校)	子どもケア学科	佐藤洋一	2014年度～ 2021年度
47	安城市教育委員会	安城市いじめ問題対策委員会 委員	子どもケア学科	佐藤洋一	2017年度～
48	豊田市教育委員会	豊田市教育特区学校審議会 委員	子どもケア学科	佐藤洋一	2021年4月1日～ 2022年3月31日
49	愛知県教育委員会	令和3年度愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議委員	子どもケア学科	佐藤洋一	2021年5月20日～ 2022年3月31日
50	三重県教育委員会	文化財保護指導委員	子どもケア学科	杉澤学	2021年4月1日～ 2022年3月31日
51	(株)新興出版啓林館	教科用図書の著者	子どもケア学科	杉澤学	～2022年3月31日
52	愛知県教育委員会	令和3年度愛知県教科用図書選定審議会 委員	子どもケア学科	鈴木薫	2021年4月1日～ 8月31日
53	愛知県教育委員会	令和3年度愛知県幼児教育研究協議会 会長	子どもケア学科	津金美智子	2021年6月3日～ 2022年3月31日
54	名古屋市教育委員会	名古屋市子どもいきいき学校づくり推進会議委員	子どもケア学科	津金美智子	2019年度～
55	国立教育政策研究所幼児教育研究センター	国立教育政策研究所幼児教育研究センターフェロー	子どもケア学科	津金美智子	2021年4月～ 2022年3月
56	国立教育政策研究所幼児教育研究センター	プロジェクト研究「幼児期からの育ち・学びとプロセスの質に関する研究」に係る委員	子どもケア学科	津金美智子	～2022年3月31日
57	日進市	令和3年度日進市子ども施策推進委員会委員長	子どもケア学科	津金美智子	2021年7月、11月、 2022年3月
58	文部科学省 国立教育政策研究所	国立教育政策研究所評議員	子どもケア学科	津金美智子	2022年1月1日～ 2024年12月31日
59	大府市教育委員会	大府市適応指導推進会議	子どもケア学科	浜田恵	2021年12月、2022年1月
60	(一社)日本美術教育学会	第14回美術教育実践研究奨励賞 選考委員	子どもケア学科	水谷誠孝	2021年7月
61	愛知県教育委員会	愛知県公立学校教員採用選考試験検討会議委員	子どもケア学科	山田敏子	2021年11月
62	名古屋市教育委員会	名古屋市立高等学校令和3年度キャリア支援モデル事業におけるキャリア支援アドバイザー	子どもケア学科	横井直子	2021年4月1日～ 2022年3月31日
63	日進市	日進市保育園運営協議会委員	子どもケア学科	横井直子	2021年4月1日～

64	愛知県教育委員会	令和3年度キャリア教育・就労支援推進委員会 委員長	子どもケア学科	吉村匡	2021年11月、 2022年2月
65	愛知県教育委員会	家庭教育企画委員会 副委員長	子どもケア学科	渡辺桜	2012年～委員、 2018年～副委員長
66	津島市健康福祉部子育て支援課	津島市子ども・子育て会議 会長	子どもケア学科	渡辺桜	2021年～
67	みよし市	みよし市保育所管理運営法人選定審査会 会長	子どもケア学科	渡辺桜	2020年6月～
68	愛知県国民健康保険団体連合会	支援・評価委員会委員長	看護学科	五十里明	2014年度～
69	愛知県保健医療局健康医務部 こころの健康推進室	愛知県アルコール健康障害対策推進会議 会長	看護学科	五十里明	2018年度～
70	名古屋市健康福祉局感染症対策室	名古屋市感染症診査協議会会長・感染症部会 会長	看護学科	五十里明	2021年4月1日～ 2022年3月31日
71	愛知県保健医療局健康医務部 健康対策課	愛知県健康づくり推進協議会 会長	看護学科	五十里明	2021年4月1日～ 2024年3月31日
72	(福)サン・ビジョン	(福)サン・ビジョン理事会 理事	看護学科	五十里明	2021年6月～ 2023年6月
73	(福)愛知県厚生事業団	(福)愛知県厚生事業団 評議員	看護学科	五十里明	2021年6月25日～ 2025年6月
74	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	分野横断的公募事業に係る事前書面審査員(ピアレビュー)	看護学科	石井健一郎	～2022年3月31日
75	日進市地域福祉課	第3期(令和3年度～令和5年度)日進市地域包括ケア検討会議 委員	看護学科	石田路子	2021年4月1日～ 2024年3月31日
76	東海公衆衛生学会	東海公衆衛生学会 評議員	看護学科	佐久間清美	2021年4月1日～ 2023年3月31日
77	(公社)日本看護科学学会	公益社団法人日本看護科学学会 看護倫理検討委員会 委員	看護学科	白鳥さつき	2021年7月16日～ 2023年6月
78	日本母性衛生学会	第63回日本母性衛生学会学術集会プログラム委員	看護学科	菅沼信彦	2021年5月7日～ 2023年9月30日
79	㈱ツムラ学術企画部	第13回看護学系漢方教育研究会 研究報告座長	看護学科	菅沼信彦	2021年9月11日
80	県立愛知看護専門学校	令和3年度研究倫理審査委員会 委員	看護学科	鈴木孝	2021年4月1日～ 2024年3月31日

1-4. 教員の講師派遣

番号	依頼先	講義等の内容	所属	氏名	日時
1	名古屋大学大学院医学系研究科	第40回人体解剖トレーニングセミナー 講師(実習指導)	学長	杉浦康夫	2021年8月
2	龍谷大学農学部	講演「より良い管理栄養士を養成するための大学のあり方について」講師	管理栄養学科	和泉秀彦	2021年12月1日
3	(公社)愛知県栄養士会	食育推進委員会研修会「人生100年時代！地域高齢者の食支援に向けて」講師	管理栄養学科	岡田希和子	2021年11月13日
4	蒲郡市健康福祉部健康推進課	令和3年度蒲郡市健康づくり食生活改善協議会総会 講演	管理栄養学科	川崎和彦	2021年4月23日
5	岐阜県西濃保健所	令和3年度地域保健関係職員研修会 講師	管理栄養学科	川崎和彦	2021年4月23日

6	豊橋市教育委員会	令和3年度豊橋市教員免許状更新講習 講師	管理栄養学科	高田尚美	2021年8月20日
7	豊田市教育研究会	令和3年度豊田市教育研究会 授業研究会(食育) 講師	管理栄養学科	高田尚美	2021年10月29日
8	尚綱大学・尚綱大学短期大学部	尚綱食育シンポジウム「乳幼児の給食における食物アレルギー対応と食育」講演 講師 (ZOOMでの講演)	管理栄養学科	高田尚美	2022年1月9日
9	(公社)東京都栄養士会	食物アレルギー研修会 講師 (オンライン(オンデマンド配信))	管理栄養学科	高田尚美	2022年2月
10	愛知県栄養士会	愛知県栄養士会地域活動部会研修会 講師	管理栄養学科	塚原丘美	2021年6月13日、 2022年2月13日
11	(学)糸菊学園 名古屋調理師専門学校	専門課程調理師科ヘルスケア調理コース課外授業「生活習慣病と食事について」講師	管理栄養学科	塚原丘美	2021年10月20日
12	中部関西診療看護師(NP)研究会	2021年度アドバンスセミナー 講師	管理栄養学科	松下英二	2022年2月26日
13	日進市立図書館	大学連携事業「飛び出すプレゼントカードづくり」講師	映像メディア学科	草野圭一	2022年2月
14	東浦町立生路小学校	校内現職教育 講師	子どもケア学科	浅田謙司	2021年9月、11月、 2022年1月
15	安城市教育委員会	安城市教員派遣研究生 指導教員	子どもケア学科	佐藤洋一	2020年4月～ 2022年3月
16	南あわじ市立北河万小学校	南あわじ市スクールチャレンジ事業「主体的学び」講師	子どもケア学科	杉澤学	2021年度
17	奈良県小学校教科等研究会、生活科・総合的な学習部会	令和3年度奈良県小学校教科等研究会 生活科・総合的な学習部会「事務局会議」講師	子どもケア学科	杉澤学	2021年6月
18	松阪市教育委員会	令和3年度「子ども支援ネットワーク・アクション事業」に係る地域学習(人権学習)指導案検討会議 講師(指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年10月29日
19	奈良県小学校教科等研究会、生活科・総合的な学習部会	令和3年度奈良県小学校生活科・総合的な学習研究大会に係る記念講演 講師(オンライン開催)	子どもケア学科	杉澤学	2021年11月18日
20	門真市立東小学校	門真市教育研究指定 令和3年度研究発表大会での講演 講師	子どもケア学科	杉澤学	2021年12月3日
21	松阪市教育委員会	令和3年度「子ども支援ネットワーク・アクション事業」に係る研究授業(総合 人権学習) 講師(指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年12月17日
22	静岡県立短期大学	静岡県臨床保育研究会(子どもの育ちを考える会) オンライン	子どもケア学科	津金美智子	2021年5月
23	福岡県立大学人間形成学科	こどもコース 幼稚園教育実習事前指導 講師 オンライン	子どもケア学科	津金美智子	2021年6月
24	富山県総合教育センター	令和3年度園長等運営管理協議会第1回 講師 オンライン	子どもケア学科	津金美智子	2021年6月4日
25	愛知県教育委員会 高浜市役所こども未来部	令和3年度道德教育の抜本的改善・充実に係る支援事業 講師	子どもケア学科	津金美智子	2021年6月、10月、12月
26	全国国公立幼稚園・こども園長会	第68回国公立幼稚園・こども園教育研究協議会 岡山大会 第1分科会(教育内容)指導助言 (オンライン開催)	子どもケア学科	津金美智子	2021年7月30日
27	(公社)全国幼児教育研究協会	第69回全国幼児教育研究大会兵庫大会分科会 講師(オンライン開催)	子どもケア学科	津金美智子	2021年8月
28	鳥取県教育委員会	令和3年度幼保小接続推進研修会 講演者(オンライン研修)	子どもケア学科	津金美智子	2021年8月11日

29	全国大学音楽教育学会中部地区学会	全国大学音楽教育学会中部地区学会2021年度前期研究大会 講演者(オンライン開催)	子どもケア学科	津金美智子	2021年8月14日
30	丸亀市幼稚園・子ども園長会・丸亀市立保育所等所長会	第9回丸亀市幼児教育合同研修会 講師(オンライン配信)	子どもケア学科	津金美智子	2021年9月4日
31	大分県教育庁幼児教育センター	令和3年度幼稚園教育課程大分県協議会 講師	子どもケア学科	津金美智子	2021年10月
32	近江八幡市子ども健康部	保育内容研修会 講師	子どもケア学科	津金美智子	2021年11月
33	岡山大学教育学部附属幼稚園	令和3年度幼児教育研究会 講師 (WEB開催)	子どもケア学科	津金美智子	2021年11月
34	高知大学教育学部附属幼稚園	公開研究発表会における座談会 講師 (WEB会議・ZOOMによる録画)	子どもケア学科	津金美智子	2021年12月
35	周南市こども・福祉部こども局	令和3年度周南市内幼稚園・保育所・認定こども園合同研修会 講師(リモート研修)	子どもケア学科	津金美智子	2022年1月、2月
36	乳幼児施設職員/周南市	令和3年度周南市内幼稚園・保育所・認定こども園合同研修会 講師(リモート研修)	子どもケア学科	津金美智子	2022年1月、2月
37	東近江市こども未来部	令和元・2・3年度幼児教育推進体制の充実・活性化事業報告会 講師 (オンライン)	子どもケア学科	津金美智子	2022年2月22日
38	東海市小中学校長会、東海市不登校対策担当部	東海市小中学校不登校対策担当者会 講師	子どもケア学科	遠山久美子	2021年11月5日、 2022年1月25日
39	立命館大学総合心理学部	「障害を持つ人々への聴取(司法面接)に関するオンライン講座 講師(警察官・検察官対象)	子どもケア学科	浜田恵	2021年12月
40	刈谷市立依佐美中学校	授業研究会 講師	子どもケア学科	松崎利美	2021年6月、7月、9月、 10月
41	稲沢市	稲沢市教育研究会研究集会 講師	子どもケア学科	松崎利美	2021年10月18日
42	北上市立飯豊中学校	「学校公開研究会」全体会 講師	子どもケア学科	松崎利美	2021年11月
43	(株)日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門	令和3年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「保険外サービス活用推進に関する調査研究事業」委員会 委員	看護学科	石田路子	2021年8月13日～ 2022年3月31日
44	(独)国立病院機構 天竜病院	看護研究指導 講師	看護学科	金城やす子	2021年4月16日～2022年2月8日(全10回(対面8回、ZOOM2回))
45	(独)国立病院機構 天竜病院	臨床看護研究 講師	看護学科	金城やす子	2021年5月28日～ 2022年3月31日
46	沖縄県八重瀬町	沖縄県八重瀬町保育保健研修会 講師(ZOOM研修)	看護学科	金城やす子	2021年5月、8月、11月、 2022年2月
47	(独)国立病院機構 天竜病院	臨床看護研究 講師	看護学科	金城やす子	2021年5月28日～ 2022年3月31日
48	(一社)日本医療保育学会	第14期一般社団法人日本医療保育学会認定「医療保育専門士」資格認定研修会 講師 (オンライン開催)	看護学科	金城やす子	2021年7月
49	愛知県歯科医師会	「ワクチン接種のための筋肉内注射に係る実技研修」 講師	看護学科	菅沼信彦	2021年5月30日
50	日本不妊カウンセリング学会	日本不妊カウンセリング学会第20回学術集会講演会 講師	看護学科	菅沼信彦	2021年6月6日～6月7日

51	港区役所	港区地域女性活動促進事業「女性のつどい」講演会「女性の病気と健康維持」演者	看護学科	菅沼信彦	2022年2月
52	愛知県看護研修センター	令和3年度愛知県隣地実習指導者講習会(特定分野) 講師	看護学科	鈴木孝	2021年12月21日～ 12月27日

1-5. その他の研究連携

番号	連携先	連携の内容	所属	氏名	日時
1	野村不動産ライフ&スポーツ(株)	栄養関連サービス開発・提供	管理栄養学部	和泉秀彦	2019年4月～
2	名古屋大学	厚生労働省難治性疾患政策研究事業「小児期・移行期を含む包括的対応を要する希少難治性肝胆膵疾患の調査研究」班研究協力 嚢胞性繊維症患者の栄養ケア	管理栄養学科	藤木理代	2007年度～
3	NPO法人嚢胞性線維症支援ネットワーク	NPO法人嚢胞性線維症支援ネットワーク 理事	管理栄養学科	藤木理代	2019年6月～
4	(株)毎日商会	型紙を持たない服	ファッション造形学科	山形亮介	2021年9月～ 2022年3月

2-1. 協同プロジェクト(商品開発、プロモーション等)

番号	連携先	内容	所属	氏名	日時
1	日進市健康課	提案型大学連携協働事業:若年成人に対する食育推進のための「ヘルピー健康だより」(日進市の健康だより)作成	管理栄養学科 デザイン学科	安達内美子 富安由紀子	2016年度～
2	日進市農政課	提案型大学連携協働事業:つつしんおいしいお宝マップ(子ども発信型食育教材の開発)	管理栄養学科	安達内美子	2020年度～
3	「あいちみんなのサラダ」運営事務局、(株)ローソン	(株)ローソンと「あいちサラダめし」共同開発(ドン!ビビンバ)を開発)	管理栄養学科	安達内美子	2021年4月～9月
4	愛知県赤十字血液センター 献血ルーム ゲートタワー26	献血ルームゲートタワー26&名古屋学芸大学コラボレシピ「血色素(ヘモグロビン)不足改善レシピ」作成	管理栄養学科	南 亜紀	2018年～
5	(株)名給	献立展示会 共同開発した献立をWEB公開	管理栄養学科	藤木理代	2022年3月
6	日進市地域福祉課	アルツハイマー月間にあわせた宣伝・ライトアップ事業	映像メディア学科	草野圭一 齋藤正和	2021年度
7	日進市地域福祉課	障害者週間に合わせた展示・ワークショップ実施	デザイン学科	井垣理史	2021年度
8	熊野市農林業振興課	熊野産木材を使った「新たな特産品づくり事業」における官学協同プロジェクト 2020年度にデザイン企画・制作した子ども施設のための遊具を2021年度にちびっこ木造ふれあい施設に搬入設置	デザイン学科	平光無門 金昌郁	2012年度～
9	日進市市民協働課	日進市明るい未来農業検討会議の協働	デザイン学科	富安由紀子	2021年度
10	岡崎アイクロホテルアングル森菊(株)	デッドストック生地を利用した小物製作	ファッション造形学科	島上祐樹	2021年9月～11月

11	森菊樹	繊維リサイクルプロジェクト	ファッション造形学科	島上祐樹	2021年12月～ 2022年7月
12	榎大嗣 『ほほほ』	Z世代が考えるサステナブル企画	ファッション造形学科	高橋里美	2021年8月～ 2022年1月
13	榎名古屋三越 ラシック事業部	商業施設「ラシック」マーケティング戦略	ファッション造形学科	高橋里美	2021年8月～ 2022年1月
14	経済産業省、伝統的工芸品月間推進会議、(一社)伝統的工芸品産業振興協会、日本伝統工芸士会、愛知県伝統的工芸品月間推進協議会	KOUGEI EXPO IN AICHI (第38回伝統的工芸品月間国民全体大会) 参加(愛知県の伝統的工芸品(名古屋友禅)の作品展示と名古屋友禅を使用した小物の商品企画と展示・販売)	ファッション造形学科	水嶋丸美	2021年1月～11月
15	愛知県警察本部	ヘルメットカバーの企画・製作	ファッション造形学科	水嶋丸美	2021年11月～
16	愛知県スポーツ局アジア競技大会推進課	アジア競技大会を契機とした地域活性化ビジョンに係るフレンドシップモデル事業～民族衣装(チマチヨゴリ)と県内素材の融合～	ファッション造形学科	水嶋丸美	2021年11月～ 2022年6月
17	日進市市民協働課	幼児向けESD事業「お話絵本と親子で楽しむ野菜料理～野菜をおいしく食べられるように～」	子どもケア学科	大島光代	2021年度

2-2. 地域課題解決・地域行事協力

番号	連携先	内 容	所 属	氏 名	日 時
1	日進市保険年金課	国民健康保険保健事業アドバイザー	管理栄養学科	北川元二	2021年度
2	愛知県健康対策課	愛知県県民健康・栄養調査	管理栄養学科	安達内美子	2021年4月～
3	NPO絆(日進絆子ども食堂)	児童扶養手当を受給する保護者への食に関する調査	管理栄養学科	安達内美子	2021年7月～8月
4	ジブン工房さわわ	持続可能で健康な食事づくりのための食育プログラム	管理栄養学科	安達内美子	2021年8月
5	蒲郡市健康増進課	蒲郡市地域高齢者健康支援型配給サービス事業における支援	管理栄養学科	塚原丘美	2021年4月～ 2022年3月
6	日進市農政課	食育啓発品(お風呂用食事ポスター)	デザイン学科	富安由紀子	2021年度
7	日進市農政課	日進市明るい未来農業検討会議との協働	デザイン学科	富安由紀子	2021年度
8	日進市農政課	6次産業化啓発品(6次産業商品等PRリーフレット)	デザイン学科	富安由紀子	2021年度
9	日進市市民協働課	平和のつどい2021ポスター及びチラシ作成印刷	デザイン学科	林祐太	2021年度
10	日進市市民協働課	デートDV啓発リーフレット作成印刷	デザイン学科	林祐太	2021年度
11	日進市市民協働課	消費生活センター周知チラシ作成印刷	デザイン学科	林祐太	2021年度
12	愛知県赤十字血液センター	「NUAS COLLECTION 2021」秀作展	ファッション造形学科	水嶋丸美	2022年2月～3月
13	イケア・ジャパン(株)	IKEAショッピングバッグを使用した「happy Woman Festa」ファッションショー衣装製作	ファッション造形学科	水嶋丸美	2022年2月～3月

14	宮城県中央児童相談所	令和3年度児童心理司育成及び専門性向上のための研修会（オンライン）	子どもケア学科	赤嶺亜紀	2021年10月
15	名古屋市教育委員会	幼児教育アドバイザー事前打合せ会	子どもケア学科	津金美智子	2021年5月、6月
16	名古屋市教育委員会	「幼小接続研究」研究委員会 講師（11月～3月はオンラインに変更）	子どもケア学科	津金美智子	2021年6月、8月、9月、10月、11月～3月
17	名古屋市教育委員会	令和3年度幼児教育支援室「幼児接続」研究資料作成検討会（オンライン会議へ変更）	子どもケア学科	津金美智子	2022年1月
18	大府市教育委員会	第1回大府市適応指導推進会議	子どもケア学科	浜田恵	2021年7月
19	(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	東京パラリンピックメディカルサポートチーム(大会での医療支援)	看護学科	出原弥和	2021年8月20日～9月3日

2-3. 産官学協同研究センターの協同プロジェクト

番号	連携先	内 容	所 属	氏 名	日 時
1	(株)ISOコーポレーション・愛知県農業水産局・農業総合試験場	新商品「おもちゃキット」の新しい食べ方・使い方(レシピ)の提案 (もち粉(愛知糯126号)料理レシピ開発)	管理栄養学科	安達内美子	2021年7月22日～12月20日
2	名古屋市中川区役所区政部地域力推進室	中川区役所が実施する川と歴史を人がつながまちプロジェクト「利家ロード～槍の又左と歩道」整備事業の展示プレートデザイン及び地域との協働等への提案	デザイン学科	井垣理史	2021年5月6日～11月30日
3	日進市教育委員会 生涯学習課	「日進市生涯学習情報誌 PLAN」の表紙デザイン制作(年3回)	デザイン学科	梶田渉	2007年4月1日～
4	日進市教育委員会 生涯学習課	「日進市家庭教育推進委員会合同情報誌 かすい」の表紙デザイン(年1回)	デザイン学科	梶田渉	2013年3月15日～
5	(株)ドリーム	2020年度に商品化が決定された「mimi hipper」、2021年度に「リフトカチューシャ ミミヒッパー」の名称で商品化が進められ、2022年度に新発売予定	デザイン学科	梶田渉 黄ロビン	2021年4月1日～
6	(株)ドリーム	新商品開発「〇〇な生活便利グッズ」「〇〇な癒しグッズ」	デザイン学科	梶田渉 黄ロビン	2021年4月29日～10月15日
7	レゴランド・ジャパン(株)	「レゴランドでモノを買う理由を作る」をテーマに園内ゲストにレゴ商品と土産品を購入してもらうための販促企画とデザイン提案	デザイン学科	梶田渉	2021年7月7日～12月8日
8	日進市生涯学習課	「日進市少年少女発明クラブ」の10周年記念ロゴマーク・ロゴタイプを制作	デザイン学科	梶田渉	2021年7月23日～2022年2月28日
9	JR東海(東海旅客鉄道(株))	JR東海沿線のお取り寄せWebサイト『いいもの探訪』の「ものと生産者の魅力を伝える特集ページ」制作、伝統的工芸品「駿河竹千筋細工」の製造・販売をする「静岡竹工芸協同組合/職人工房:みやび行燈制作所」の特集ページ編集デザイン制作	デザイン学科	柴田知司	2021年4月28日～2021年12月23日
10	(株)中日新聞社・栄中日文化センター	中日文化センターにおける新しいシンボルマーク「Bridge」のコンセプトシート及びデザインマニュアル制作	デザイン学科	富安由紀子	2021年6月1日～10月31日
11	プライムツリー赤池	ショッピングモール「プライムツリー赤池」イベント企画・運営 体験型展示イベント「ワハハうんどうかい」	デザイン学科	尹成濟	2021年4月20日～12月5日

12	JR東海(東海旅客鉄道株)	JR東海沿線のお取り寄せWebサイト『いいもの探訪』の「ものと生産者の魅力を伝える特集ページ」制作、豊橋産のうずら卵を使用した「うずらプリン」を製造・販売する「アイプロ(有)菓匠華月」の特集ページ編集デザイン制作	デザイン学科	尹成濟	2021年4月28日～ 2021年12月23日
13	㈱ISOコーポレーション・愛知県農業水産局・農業総合試験場	新商品「おもちゃキット」のパッケージデザイン制作(リニューアル)	デザイン学科	尹成濟	2021年7月22日～

2-4. その他(研究・教育連携)

番号	連携先	内 容	所 属	氏 名	日 時
1	幸田町教育研究会	令和3年度幸田町一斉授業研究会 講師 (新型コロナウイルス感染症対応で書面での指導)	管理栄養学科	高田尚美	2021年8月24日
2	静岡県立焼津中央高等学校	合唱部オペラ「魔笛」衣装製作指導	ファッション造形学科	水嶋丸美	2021年10月～ 2022年5月
3	㈱L&R	「お願い！フルハウス」アイドル衣装製作	ファッション造形学科	水嶋丸美	2021年8月～ 2022年2月
4	国立病院機構 東海北陸グループ	国立病院機構 東海北陸グループ実習指導者講習会	看護学科	大西幸恵	2021年9月

3-1. 社会人教育(公開講座・生涯教育含む)

番号	対 象	内 容	所 属	氏 名	日 時
1	一般社会人	日進市大学連携講座「食の安全・安心を考えましょうー食品添加物と健康食品についてー」講師	管理栄養学科	伊藤勇貴	2022年2月17日
2	一般社会人	尾張旭市高齢者教室(長寿学園)「講話」講師 テーマ「健康寿命を延ばそう！ゆるやかな糖質制限の提案」	管理栄養学科	岡田希和子	2021年8月26日
3	一般社会人	イーブルなごや 高血圧市民公開講座「いつもの食事に減塩食を取り入れてみませんか？」講師	管理栄養学科	岡田希和子	2021年12月12日
4	一般社会人	蒲郡市健康福祉部健康推進課主催 蒲郡市男性料理教室 講師 (オンライン)	管理栄養学科	川崎和彦	2021年6月12日、26日
5	一般社会人	蒲郡市健康福祉部健康推進課主催 蒲郡市おやこクッキング教室 講師 (オンライン)	管理栄養学科	川崎和彦	2021年7月4日、 8月1日
6	一般社会人	食品安全マネジメントシステム研修会(「HACCP制度化と種々のHACCP認証」「HACCPによる衛生管理で必要な微生物検査」をテーマに2名の講師による講演)	管理栄養学科	岸本満	2022年3月11日
7	一般社会人	日進市南ヶ丘福祉まちづくり協議会 につしんぶらっとホーム南ヶ丘のんびり元気塾～地域で進める健康づくり～講演 演題「再確認！食事は大事、いまこそしっかり食べよう」講師	管理栄養学科	塚原丘美	2022年2月24日
8	一般社会人	名古屋市中区生涯学習センター主催健康講座「腸活からはじめませんか？～「腸内フローラ」とは～」講師	管理栄養学科	藤木理代	2021年6月18日
9	一般社会人	朝日カルチャーセンター講演会「遺伝子検査でわかる自分のエネルギー代謝」講師	管理栄養学科	藤木理代	2021年6月

10	一般社会人	にしん市民教室「コロナに負けない健康づくり」講師	管理栄養学科	藤木理代	2021年6月～ 2022年3月
11	一般社会人	昭阳区生涯学習センター令和3年度前期主催講座「カロリーよりタイミング～健康的な食べ方、生き方を考える～」講師	管理栄養学科	藤木理代	2021年8月31日
12	一般社会人	日進市大学連携講座「誰かに伝えたい、健康長寿の話」ZOOMによるオンライン講座 講師	管理栄養学科	松下英二	2022年2月10日
13	一般社会人	日進市大学連携講座「家の中ですぐできる！たのしい運動で体力アップ！」講師	管理栄養学科	安友裕子	2022年2月24日
14	一般社会人	日進市大学連携講座「風刺(サタイア)としてのサイエンス・フィクション」ZOOMによるオンライン講座 講師	映像メディア学科	柿沼岳志	2021年11月27日
15	一般社会人	名古屋学芸大学公開講座「テレビを見ない学生が作ったテレビ番組がオモシロイ！」	映像メディア学科	吉野まり子	2021年12月11日
16	一般社会人	日進市大学連携講座「デジタルメディアにおけるグラフィックデザインの実践」ZOOMによるオンライン講座 講師	デザイン学科	柴田知司	2022年2月25日
17	一般社会人	名古屋学芸大学公開講座「コットンのはなし ウールのはなしーおりもの産地の今ー」	ファッション造形学科	島上祐樹	2021年7月24日
18	一般社会人	一宮市「令和3年度成人教養講座」講演演題「コットンのはなし」「ウールのはなし」講師	ファッション造形学科	島上祐樹	2021年12月11日、 12月18日
19	一般社会人	長久手社会福祉協議会主催 防災ボランティア養成講習 講師	子どもケア学科	石原貴代	2021年7月17日
20	一般社会人	日進市大学連携講座「言葉を育む・心を育むー意欲のある子どもに育てましようー」 ZOOMによるオンライン講座 講師	子どもケア学科	大島光代	2021年11月6日
21	一般社会人	日進市大学連携講座「まるごとピアノの話ー生演奏とともにー」講師	子どもケア学科	岡田暁子	2021年12月17日
22	一般社会人	日進市大学連携講座「今、子どもに伝えたい性情報～学校教育と家庭教育の違いから考える～:学校ってどんなところ～学校教育の現状と課題～」講師	子どもケア学科	酒井多香子	2021年10月8日
23	一般社会人	日進市大学連携講座「今、子どもに伝えたい性情報～学校教育と家庭教育の違いから考える～:学校における性に関する教育の考え方・進め方」講師	子どもケア学科	酒井多香子	2021年10月15日
24	一般社会人	日進市大学連携講座「今、子どもに伝えたい性情報～学校教育と家庭教育の違いから考える～:「性」を考えることから「いのち」の大切さを学ぶ家庭教育」講師	子どもケア学科	酒井多香子	2021年10月22日
25	一般社会人	日進市大学連携講座「子どもの行動の理解とほめ方のコツ」ZOOMによるオンライン講座 講師	子どもケア学科	浜田恵	2021年10月9日
26	一般社会人	にしん子育て総合支援センター 子育て支援者養成講座「子どもの発達と保育原理」講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年6月10日
27	一般社会人(小学生の保護者)	豊橋教育委員会主催 令和3年度「子育てお悩み解決塾」講座 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年8月21日
28	一般社会人	子育て支援センターせとつ子ファミリー交流館 令和3年度「育児講座」講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年8月22日
29	一般社会人	NPO法人ファミリーステーションRin オンライン子育て講座 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年8月26日、9月 14日、10月8日

30	一般社会人	名古屋市東生涯学習センター令和3年度前期主催講座「託児ボランティア養成講座～子どもたちと過ごすステキな時間～」	子どもケア学科	渡辺桜	2021年8月31日
31	一般社会人	愛知県教育委員会 令和3年度「親の育ち」家庭教育支援者養成講座 講師（ZOOM、オンデマンド）	子どもケア学科	渡辺桜	2021年9月21日、28日
32	一般社会人	日進市大学連携講座「噛む力と認知機能の関係」 ZOOMによるオンライン講座 講師	看護学科	穴井美恵	2022年3月5日
33	一般社会人	日進市大学連携講座「介護保険～最新情報をキャッチしましょう！」 ZOOMによるオンライン講座 講師	看護学科	石田路子	2021年10月2日
34	一般社会人	日進市大学連携講座「食品の多様性で健康寿命をのばそう！」 ZOOMによるオンライン講座 講師	看護学科	宮本恵子	2022年1月25日
35	一般社会人	名古屋市共働きカップルのためのパパママ教室 オンライン講座	別科助産学専攻	糟谷ちひろ	2020年10月～
36	一般社会人	水問題研究所総会講演 演題「100歳まで元気で生きるために～ぎんさんの娘さんたち、三浦雄一郎さんから学ぶ～」 講師	健康・栄養研究所	下方浩史	2021年7月15日
37	一般社会人	日進市南ヶ丘福祉まちづくり協議会 につしんぷらっとホーム南ヶ丘のんびり元気塾～地域で進める健康づくり～講演 演題「“ずーっと元気”のための食生活」 講師	健康・栄養研究所	下方浩史	2021年10月28日
38	一般社会人	朝日新聞社主催講演「みかんでイキイキ！健康セミナー」 演題「みかんで健康長寿」講師	健康・栄養研究所	下方浩史	2021年11月6日、7日
39	一般社会人	大府市「市民文化交流イベント」講演 演題「江戸時代の『養生訓』に学ぶ！」 講師	健康・栄養研究所	下方浩史	2021年12月19日
40	一般社会人	刈谷市民健康講座 演題「健康長寿～これからのポジティブに生きるために～」講師	健康・栄養研究所	下方浩史	2022年3月17日

3-2. 職業人教育(寄附講座含む)

番号	対象/依頼先・相手先	内 容	所 属	氏 名	日 時
1	中堅栄養行政士/岐阜県健康福祉部保健医療課	令和3年度行政栄養士中堅研修 講師	管理栄養学科	川崎和彦	2021年9月6日、 2022年2月7日
2	新任栄養行政士/岐阜県健康福祉部保健医療課	令和3年度行政栄養士新任研修 講師	管理栄養学科	川崎和彦	2021年9月13日、 2022年2月21日
3	朝日メンテナンス工業㈱	栄養科学研究科寄附講座「食品安全マネジメントシステム(FSMS)特論」	管理栄養学科	岸本満	2021年9月～ 2022年3月
4	中堅栄養教諭(5年目以上)/愛知県総合教育センター	令和3年度中堅栄養教諭資質向上研修【前期】講師	管理栄養学科	岸本満	2021年8月
5	栄養教諭/新城市教育委員会	令和3年度第1回栄養教諭研修会 講師	管理栄養学科	高田尚美	2021年4月23日
6	三重県内栄養教諭/三重県教育委員会	令和3年度食育講座2 講師（ZOOMによる講習）	管理栄養学科	高田尚美	2021年8月19日
7	石川県内栄養教諭・学校栄養職員/石川県教育委員会	令和3年度栄養教諭・学校栄養職員講習会「GIGAスクール構想を意識した食育」講演 講師	管理栄養学科	高田尚美	2022年2月4日

8	東京都民管理栄養士・栄養士・学生/東京都栄養士会	食物アレルギーセミナー「生活管理指導表を活用した給食提供方法」講義 講師	管理栄養学科	高田尚美	2022年2月19日～28日
9	教職員/東海市立平洲中学校	現職教育夏季研修会 講師	子どもケア学科	浅田謙司	2021年8月2日
10	教諭/東浦町生路小学校	現職教育 講師	子どもケア学科	浅田謙司	2021年8月、11月
11	特別支援現職教員/名古屋市教育委員会教育相談部	特別支援教育推進講座 講師	子どもケア学科	石垣儀郎	2021年8月27日
12	教諭/西尾市立一色東部小学校	授業研究会 講師	子どもケア学科	佐藤洋一	2021年6月11日
13	愛知県内の看護師等養成所の新人専任教員/愛知県立総合看護専門学校	令和3年度新人看護教員研修会、専任教員研修会 講師	子どもケア学科	佐藤洋一	2021年7月9日、30日
14	教職員・学生/(特非)21世紀教育研究所	21世紀型教育研究会・第6回公開研究会(展望・講演) 講師	子どもケア学科	佐藤洋一	2021年8月
15	教職員/長野県飯田市立山本小学校	授業研究会 講師 (オンライン開催)	子どもケア学科	佐藤洋一	2021年8月
16	教諭/みよし市立天王小学校	授業研究会 講師	子どもケア学科	佐藤洋一	2021年9月29日
17	教職員・学生/日本国語教育学会	第83回全国大会 指定討論者 講師	子どもケア学科	佐藤洋一	2021年9月
18	高校教員/愛知県教科教育研究会東三河地区連絡会、愛知県国語教育研究会東三河地区研究会	令和3年度東三河地区第2回国語教育研究会における講演 講師	子どもケア学科	佐藤洋一	2021年10月
19	教諭/西尾市教育委員会	西尾市教育委員会指定研究・公開研究発表会(全体講演) 講師	子どもケア学科	佐藤洋一	2021年10月21日
20	教諭/幸田町立坂崎小学校	授業研究会 講師	子どもケア学科	佐藤洋一	2021年10月
21	職員/奈良県橿原市立白檀南小学校	令和3年度職員研修 講師(指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年4月23日
22	教職員/広陵町立広陵西小学校	校内研修 講師(指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年5月14日、7月2日
23	教職員/門真市立東小学校	校内研修 講師(ZOOM)	子どもケア学科	杉澤学	2021年5月
24	教職員/三重県松阪市立豊田小学校	校内研修会 講師	子どもケア学科	杉澤学	2021年5月
25	教員/奈良県橿原市立菅北小学校	理科研究授業についての指導助言(講師) (2月についてはオンライン)	子どもケア学科	杉澤学	2021年6月、2022年2月
26	教員/松坂市立朝見小学校	校内研修会 講師(教育研究に係る授業参観及び指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年6月18日
27	教員/松阪市立室山小学校	校内研修会 講師(教育研究に係る授業参観及び指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年6月11日
28	教員/大津市立長等小学校	校内研究会 講師(教育研究に係る授業参観及び指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年7月9日
29	教職員/南あわじ市立北阿万小学校	校内研修会 講師(教育研究に係る授業参観及び指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年7月8日、10月1日、2022年2月10日

30	職員/奈良県橿原市立白檀南小学校	職員研修 講師(教育研究に係る授業参観及び指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年7月16日
31	教員/豊橋市立福岡小学校	研修会「問題解決的な学習について」講演 講師	子どもケア学科	杉澤学	2021年8月5日
32	教職員/津市立誠之小学校	校内研修会 講師(教育研究に係る授業参観及び指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年8月6日
33	教員/松阪市立室山小学校	校内研修会 講師(教育研究に係る授業参観及び指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年8月19日
34	教職員/門真市立東小学校	教職員研修会 講師(教育研究に係る授業参観及び指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年8月27日
35	教員/松阪市立南小学校	校内研修会 講師(教育研究に係る授業参観及び指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年8月2日、 10月15日
36	教職員/門真市立東小学校	校内研修 講師(令和3年度研究発表大会に向けての指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年10月22日
37	教職員/広陵町立広陵西小学校	校内研修 講師(教育研究に係る指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年11月12日、11月 26日、2022年3月15日
38	教職員/奈良市立右京小学校	校内研修 講師(総合的な学習の時間の授業づくりに係る指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2022年2月21日
39	教員/愛知県立豊川特別支援学校	夏期校内研修「特別支援学校における外国語活動について」講座 講師	子どもケア学科	鈴木薫	2021年8月1日
40	養護教員/豊田市教育委員会	令和3年度夏季実技研修会・豊田市教員免許状更新講習(養護・保健①) 講師	子どもケア学科	近森けいこ	2021年8月3日
41	養護教員/静岡県教育委員会健康体育課	令和3年度中堅教諭等資質向上研修(養護教員)専門研修 講師	子どもケア学科	近森けいこ	2021年12月6日
42	幼稚園教員・保育士・保育教諭等/愛知県総合教育センター	令和3年度幼稚園教育課程講座 講師	子どもケア学科	津金美智子	2021年5月
43	保育士/江南市役所こども未来部保育課	保育士研修会 講師	子どもケア学科	津金美智子	2021年5月、6月
44	保育士/岡崎市子ども部保育課	岡崎市保育園連絡協議会保育士研修会 講師	子どもケア学科	津金美智子	2021年6月
45	保育教諭・保育士/刈谷市	保育内容指導研修会 講師	子どもケア学科	津金美智子	2021年6月
46	3年目教員/(一社)静岡県私立幼稚園振興協会	令和3年度3年目教員研修会(オンデマンド遠隔)	子どもケア学科	津金美智子	2021年7月
47	幼稚園教員・保育士/北九州市立教育センター	幼児教育研修【理論編】講師(オンライン開催)	子どもケア学科	津金美智子	2021年7月
48	幼稚園教職員/至学館大学附属幼稚園	園内教員研修会 講師	子どもケア学科	津金美智子	2021年8月
49	保育教諭・保育士/刈谷市	保育内容指導研修会 講師	子どもケア学科	津金美智子	2021年11月
50	幼稚園教員/兵庫県私立幼稚園協会	私立幼稚園教員 子育て支援研修(オンライン開催)	子どもケア学科	津金美智子	2021年11月、12月
51	保育士/東浦町役場健康福祉部	令和3年度東浦町保育士研修会 講師	子どもケア学科	津金美智子	2021年12月

52	臨床心理士、公認心理士、保育士、教員、医師、社会福祉士、作業療法士、専門領域を学ぶ学生/(特非)九州大学こころと育ちの相談室	「子どもの社会性発達支援の基礎～共同注意と遊びの理解～」研修会 講師(ZOOMによるオンライン研修)	子どもケア学科	浜田恵	2021年8月
53	保育士/豊田市立高嶺こども園	園内研究講師 テーマ:「自ら体を動かして遊ぶ子をめざして」	子どもケア学科	林麗子	2021年7月
54	教職員/愛知県総合教育センター	令和3年度夏季研修会「高等学校における特別支援教育」講座 講師	子どもケア学科	吉村匡	2021年8月
55	小中高等学校・特別支援学校教員/愛知県総合教育センター	令和3年度スキルアップ研修「特別支援教育講座B自立活動セミナー2」講師	子どもケア学科	吉村匡	2021年8月
56	保育士/長久手市	長久手市現職保育士研修会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年5月、6月
57	保育士/豊田市立挙母こども園	園内研究会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年5月18日
58	保育士/(福)ブライト保育園安城桜町	職員研修 講師 (ZOOM開催)	子どもケア学科	渡辺桜	2021年5月
59	保育士/中山松元幼稚園	講演講師 テーマ:「子ども自身が遊んでみたくなる保育室」	子どもケア学科	渡辺桜	2021年5月
60	保育園職員・保育士/豊田市立伊保こども園	園内研究講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年5月11日、10月12日
61	保育士/豊田市立若園こども園	園内研究会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年5月、10月
62	保育士/豊田市立寺部こども園	園内研究 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年6月
63	保育士/中山松元幼稚園	新任研修 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年6月
64	保育園職員・保育士/半田市健康子ども部	園内研修・公開保育研修 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年6月、2022年1月
65	保育士/東浦町	令和3年度東浦町保育士研修会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年6月4日
66	保育園職員・保育士/豊田市立大草こども園	園内研修 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年6月
67	保育園職員/東海市立加木屋南保育園自主研究グループ	自主研究グループ 講師「遊び保育を保障する環境」	子どもケア学科	渡辺桜	2020年6月、12月
68	保育士/(福)太陽 ひなた保育園	研修会 講師(ZOOM開催)	子どもケア学科	渡辺桜	2021年7月
69	保育士/東海市	東海市立保育園職員研修 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年7月
70	保育士/一宮市	保育士研修会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年7月6日
71	保育士/武豊町子育て支援課	武豊町保育士研修会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年7月27日
72	保育者/西尾市子ども部保育課	令和3年度西尾市保育者全体研修 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年8月
73	園長/安城市子育て健康部保育課	園長研修会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年9月

74	保育士/一宮市	主査研修会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年9月
75	保育教諭/(福)昇人会 堤こども園	園内研修会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年7月、10月
76	園長/安城市子育て健康部保育課	園長研修会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年10月29日
77	園長/安城市子育て健康部保育課	園長研修会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年10月
78	保育士/豊田市立挙母子ども園	園内研究 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年10月
79	職員/豊田市立大草こども園	園内研究 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年11月
80	保育士/(福)太陽	園内研究 講師 (12月はZOOM研修)	子どもケア学科	渡辺桜	2021年11月、12月
81	保育士/(福)済聖会 ブライト保育園安城桜町	園内職員研修 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年12月
82	職員/東海市立加木屋南保育園自主研究グループ	保育園職員研修 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年12月
83	保育士/中山松元幼稚園	園内研修 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2022年2月
84	保育教諭/刈谷市立日高幼稚園	園内研修会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2022年2月21日
85	看護師/なごやナースキャリアサポートセンター	令和3年度名古屋隣地実習指導者講習会 講師	看護学科	浅野妙子	2021年8月
86	京都府内保育士職員/(一社)京都府保育協会	キャリアアップ研修 保育衛生・安全対策 講師 (ZOOMによる研修会)	看護学科	金城やす子	2021年9月
87	JICA海外協力隊員/(公社)青年海外協力協会	課題別派遣前訓練講義(地域看護) 講師 (ZOOMによるオンラインでの実施)	看護学科	八田早恵子	2021年6月
88	医師、医療機関に従事するメディカルスタッフ(薬剤師、看護師等)、認知症に関する研究者/中部老年期認知症研究会・日本ケミファ㈱	第23回中部老年期認知症研究会 演題「長期縦断研究と認知症」講師 (WEB講演会)	健康・栄養研究所	下方浩史	2022年1月29日

3-3. 地域人材の育成

番号	対象/依頼先	内 容	所 属	氏 名	日 時
1	愛知県内学校給食センター所属 調理員等/愛知県学校給食連絡協議会	令和3年度「衛生栄養講習会」 講師	管理栄養学科	高田尚美	2021年8月2日、3日
2	管理栄養士・栄養士/(公社)島根県栄養士会	2021年度生涯教育研修会 「研究ことはじめ一実践研究の意義・進め方」 講師	管理栄養学科	塚原丘美	2021年11月14日
3	運動普及推進員・体操指導者用紙給講座受講者・運動普及推進員/日進市	令和3年度運動普及推進員・体操指導者養成講座「生活習慣病予防と運動について～メタボリックシンドロームを中心に学ぶ」 講師	管理栄養学科	塚原丘美	2021年11月26日
4	管内大学保険管理担当者、管内視聴栄養・成人保険担当者、保健所職員/愛知県瀬戸保健所	令和3年度瀬戸保健所食生活改善支援事業研修会 講師	管理栄養学科	安友裕子	2021年11月

5	安城市教員派遣研究生/安城市教育委員会	安城市教員派遣研究生の指導教員	子どもケア学科	佐藤洋一	2021年4月1日～ 2022年3月31日
6	看護教員/愛知県立総合看護専門学校 愛知県看護研修センター	令和3年度愛知県専任教員養成講習会 講師	子どもケア学科	佐藤洋一	2021年7月
7	小・中学校10年経験者教諭/愛知県総合教育センター	令和3年度小・中学校10年経験者研修 講師	子どもケア学科	佐藤洋一	2021年8月
8	教職員/松阪市教育委員会	令和3年度松阪市子ども支援研究センター研修講座 講師	子どもケア学科	杉澤学	2021年7月
9	教師/ソニー科学教育研究会	SSTA(ソニー科学教育研究会)西日本ブロック特別研修会 講師(オンライン研修)	子どもケア学科	杉澤学	2021年8月8日
10	長等幼稚園・小学校教員/大津市立長等小学校	長等小学校校内研究会 講師(指導助言)	子どもケア学科	杉澤学	2021年11月5日
11	長等幼稚園・小学校教員・県内教育関係者/大津市立長等小学校	長等小学校校内研究会 講師(助言指導)	子どもケア学科	杉澤学	2022年1月28日
12	小中高等学校一般教諭・養護教諭・学生/JKYBライフスキル教育研究会	JKYBライフスキル教育研究会健康教育セミナー 講師	子どもケア学科	近森けいこ	2021年5月
13	小中高等学校一般教諭・養護教諭・学生/JKYBライフスキル教育研究会	JKYBライフスキル教育研究会健康教育1日ワークショップ 講師	子どもケア学科	近森けいこ	2022年2月
14	保育士/稲沢市保育士会	稲沢市保育士会研修 講師 (オンデマンド)	子どもケア学科	津金美智子	2021年4月
15	幼稚園・保育所教職員/三重県東員町保育課	東員町16年一貫教育プラン 幼稚園保育園職員研修 講師 オンデマンド	子どもケア学科	津金美智子	2021年7月
16	幼稚園教員・保育士/名古屋市教育局教育委員会	派遣型研修会 講師	子どもケア学科	津金美智子	2021年12月23日
17	市内の子育て、保育、福祉、教育に携わる職員及び関係者/北広島市	令和3年度北広島市発達支援講演会 講師(オンライン)	子どもケア学科	浜田恵	2021年8月
18	巡回支援専門員/国立障害者リハビリテーションセンター	令和3年度巡回支援専門員研修会(オンライン研修会) 講師	子どもケア学科	浜田恵	2021年10月
19	管理職/堺市教育委員会	令和3年度課題対応研修 講師	子どもケア学科	松崎利美	2021年7月
20	小・中学校中堅教諭/愛知県総合教育センター	令和3年度小・中学校中堅教諭資質向上研修 講師	子どもケア学科	松崎利美	2021年12月
21	中・高等学校教員/愛知県立三好特別支援学校	夏季研修 講師	子どもケア学科	吉村匡	2021年8月
22	4歳児担当保育士/弥富市	職員研修会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年12月10日
23	保育所職員・認定こども園職員・幼稚園職員・子育て支援センター職員・家庭児童相談室職員/津島市	令和3年度保育士・保育教諭研修会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年11月
24	現任保育士/愛知県現任保育士研修運営協議会	令和3年度「現任保育士研修」公開講座「コロナ禍における保育の課題と対応」 講師 (オンライン開催)	子どもケア学科	渡辺桜	2021年11月

25	中堅保育教諭(5年目以上)/刈谷市	中堅保育士(5年目以上)研修会 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年12月
26	保育士/稲沢市保育士会	稲沢市保育士会研修 講師	子どもケア学科	渡辺桜	2021年12月
27	園長・副園長・主査・保育係長、保育士・保育教諭・幼稚園教諭、看護師等/名古屋市子ども青少年局	令和3年度教育・保育施設職員研修 講師 (ZOOM録画配信)	子どもケア学科	渡辺桜	2022年2月
28	主任教諭・主任保育教諭・役員/三河幼稚園・子ども園教育研究会	三河幼稚園・子ども園教育研究会幹事会後援会 講師 (ZOOM開催)	子どもケア学科	渡辺桜	2022年2月9日
29	初任保育士/半田市健康子ども部	初任保育士研修 講師 (ZOOM開催)	子どもケア学科	渡辺桜	2022年3月1日
30	栄養教員・学校栄養職員/名古屋市教育委員会	令和3年度栄養教員・学校栄養職員研修会 講師	看護学科	穴井美恵	2021年8月25日
31	助産師・看護師/(独)国立病院機構東海北陸グループ	令和3年度独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ 助産師・看護師実習指導者講習会 講師	看護学科	大西幸恵	2021年9月
32	看護師・保育士/半田市健康子ども部	看護師・保育士研修 講師	看護学科	金城やす子	2021年10月22日
33	助産師・看護師/(独)国立病院機構東海北陸グループ	令和3年度独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ 助産師・看護師実習指導者講習会 講師	看護学科	佐久間清美	2021年9月
34	助産師・看護師/(独)国立病院機構東海北陸グループ	令和3年度独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ 助産師・看護師実習指導者講習会 講師	看護学科	信組麻里	2021年9月
35	レベルⅢをめざす看護師/長野赤十字病院	レベルⅢ リフレッシュ研修 講師	看護学科	白鳥さつき	2021年9月
36	助産師・看護師/(独)国立病院機構東海北陸グループ	令和3年度独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ 助産師・看護師実習指導者講習会 講師	看護学科	平賀元美	2021年8月、9月
37	看護教員/愛知県立総合看護専門学校 愛知県看護研修センター	令和3年度愛知県専任教員養成講習会 講師	看護学科	平賀元美	2021年9月

3-4. 幼・小・中・高生教育

番号	対象/依頼先	内 容	所 属	氏 名	日 時
1	幼小中高校生とその保護者/NPO絆(日進絆子ども食堂)	こどもキッチンまんぶく(ひとり親・共働き家庭を対象とした親子食事づくりセミナー)	管理栄養学科	安達内美子	2021年8月
2	小学4~6年生/日進市生涯学習課	子ども大学にっしん「電気と磁石のふしぎな関係を探ろう!!」講師	子どもケア学科	石井鈴一	2021年8月19日
3	中高生/愛知県立岡崎特別支援学校 中学部・高等部	特別支援学校の英語授業におけるALT導入の効果に関する研究 (外国人講師によるZOOMを活用した英語の授業を実施し、研究調査を実施)	子どもケア学科	鈴木薫	2022年2月28日
4	高校生/愛知県立豊橋豊学校高等部	特別支援学校の英語授業におけるALT導入の効果に関する研究 (ALTとして外国人講師を派遣し、英語教育に関する研究調査を実施)	子どもケア学科	鈴木薫	2022年2月1日、2月2日、3月1日

5	幼児・小学1年生とその保護者/ 愛知教育大学	2021年度愛知教育大学地域連携センター公開講座「描いて！作って！鳴らして遊ぶ！！音・色・形によるアートの世界」講師	子どもケア学科	水谷誠孝	2021年7月
6	0～2歳児の未就園児の親子	親子であそぼう会	子どもケアセンター	渡辺桜 センター保育士	2021年6月30日、7月28日、8月4日、11月17日、12月3日、12月22日、2022年1月26日(全7回)
7	0歳、1歳児の親子	親子のひろば	子どもケアセンター	渡辺桜	2021年14～11月 (6回の連続講座)
8	6ヵ月～4歳未満の未就園児と保護者、出産予定者	親力アップセミナー	子どもケアセンター	林麗子 水嶋丸美 鶴飼文代 浜田恵	2021年11月～ 2022年3月

3-5. 授業に関連したボランティア

番号	実施先	内 容	所 属	氏 名	日 時
1	名城大学女子駅伝部	名城大学女子駅伝部への食事支援(食事提供)	管理栄養学科	南亜紀	2017年度～
2	竹の山自治会	竹の山地区清掃活動	子どもケア学科	石原貴代	2021年10月17日
3	竹の山自治会	子どもへの環境保全のための3Rの実践	子どもケア学科	石原貴代	2021年12月11日

3-6. SLセンター経由のボランティア

番号	実施先等	内 容	参加人数	日 時
1	やろまいか！愛・知クリーン作戦 実行委員会	やろまいか！愛・知クリーン作戦！！	11	2021年5月30日
2	日本赤十字社愛知県支部	防災を地域の皆様と一緒に学びませんか？(防災人材育成プログラム第1回)	5	2021年7月10日
3	長久手市社会福祉協議会 ボランティアセンター	ボランティアカフェ長久手	2	2021年7月16日
4	長久手市社会福祉協議会 ボランティアセンター	防災ボランティアコーディネーター養成講座	1	2021年7月24日
5	あいち国際女性映画祭事務局	あいち国際女性映画祭2021 映画祭ボランティア	20	2021年7月29日、 9月1日～5日
6	日進市生涯学習課生涯学習係	日進版こどものまち事業	3	2021年8月8日～ 2022年3月21日
7	名古屋外国語大学マスコミ業界 研究グループ	「レンチンレシピ」	3	2021年9月15日、21日、 25日
8	観光文化交流局名古屋城総合 事務所	名古屋城観光ガイドボランティア	1	2021年10月3日、9日、 17日、24日、11月27日
9	長久手市社会福祉協議会	長久手で稲作体験	4	2021年10月17日
10	日本赤十字社愛知県支部	防災を地域の皆様と一緒に学びませんか？(防災人材育成プログラム第2回)	7	2021年10月23日

11	やろまいか！愛・地クリーン作戦 実行委員会	やろまいか！愛・地クリーン作戦！	13	2021年10月24日、11月 28日、12月19日
12	日本赤十字社愛知県支部	防災を地域の皆様と一緒に学びませんか？(防災人材育成プログラム第3回)	8	2021年11月27日
13	スペシャルオリンピックス日本・ 愛知	スペシャルオリンピックス日本・愛知 スポーツプログラム	2	2022年1月30日、 2月6日、3月20日、 3月27日
14	マラソンフェスティバルナゴヤ・愛 知 ボランティアセンター	マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2022	19	2022年3月11日～13日
15	愛知県赤十字血液センター	献血の呼びかけ	3	2022年1月30日
16	愛知県赤十字血液センター	献血の呼びかけ	1	2022年2月13日

3-7. その他のボランティア

番号	実施先	内 容	所 属	参加者	日 時
1					

4. その他の連携等

番号	対象/依頼先	内 容	所 属	氏 名	日 時
1	近隣住民等(20歳以上)	施設開放 中央図書館の利用	図書館	藤井省三	2003年～

IV. 資料

1. 名古屋学芸大学地域連携推進研究機構規程

(趣旨)

第1条 本規程は、名古屋学芸大学学則第63条の2第2項の規定に基づき、名古屋学芸大学地域連携推進研究機構(以下「機構」という。)の組織及び運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 機構は、名古屋学芸大学(以下「本学」という。)の、学長のリーダーシップの下、本学における地域連携(産官学連携を含めた連携をいう。以下同じ。)の推進に係る基本方針等を検討し、施策を推進することを目的とする。

(業務)

第3条 本機構は、前条に掲げる目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- 一 地域連携推進に係る方針の策定に関すること
- 二 地域連携研究の実施、社会実装の推進及びその支援に関すること
- 三 サービスラーニングセンターの運営に関すること
- 四 地域連携、地域貢献活動及び関連する教育・研究成果の広報に関すること
- 五 公開講座の実施・運営に関すること
- 六 その他全学的な地域連携推進に関すること

(教職員)

第4条 機構に、次の教職員を置く。

- 一 機構長
- 二 副機構長
- 三 ボランティアコーディネーター
- 四 その他必要な教職員

2 機構に副機構長を置くことができる。

(機構長)

第5条 機構長は、本学の専任の教授のうちから選考する。

- 2 機構長は、機構の業務を掌理する。
- 3 機構長の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 4 機構長に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(機構長の選考)

第6条 機構長の選考は、「名古屋学芸大学部館科長選考規程」に基づき行う。

(副機構長)

第7条 副機構長を置く場合は、機構長が本学の専任の教職員のうちから選任する。

2 副機構長は、機構長を補佐し、機構の業務を行う。

3 副機構長の任意は2年とし、再任を妨げない。なお、年度途中で副機構長に選任された場合の任期は、機構長の任期の末日とする。

(運営委員会)

第8条 機構に運営委員会を置く。

(審議事項)

第9条 運営委員会は、第3条の業務に関わる重要事項を審議する。

(組織)

第10条 運営委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- 一 機構長
 - 二 副学長(教育・研究)
 - 三 副機構長
 - 四 ボランティアコーディネーター
 - 五 各研究科から選出された教員
 - 六 各学部及び教養教育機構から選出された教員
 - 七 健康・栄養研究所長
 - 八 子どもケアセンター長
 - 九 産官学協同研究センター長
 - 十 事務局長
 - 十一 事務局部長
 - 十二 その他学長が必要と認めた者
- 2 前項第四号から第九号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。なお、委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議及び議事)

第11条 運営委員会は、機構長が招集し、その議長となる。ただし、機構長に事故あるときは、機構長があらかじめ指名した者がその職務を代行する。

2 会議は、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、議事は、出席者の過半数によって決する。

(委員以外の者の出席)

第12条 運営委員会が必要と認めたときは、運営委員会に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(部会)

第 13 条 運営委員会の下に部会を置くことができる。

2 部会の構成及び運営は、機構長が運営委員会に諮って決定する。

(事務)

第 14 条 機構の事務は、機構においてこれを担当する。

(雑則)

第 15 条 この規程に定めるもののほか、機構の組織及び運営等に関し必要な事項は、運営委員会及び評議会の議を経て学長が定める。

附 則

1 この規程は、2018 年 10 月 3 日から施行する。

附 則

1 この規程は、2019 年 9 月 4 日から施行する。

附 則

1 この規程は、2021 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この改正は、2022 年 5 月 11 日から施行し、2022 年 4 月 1 日に遡及し適用する。

2 本規程の施行に伴い、「名古屋学芸大学サービスラーニングセンター規程」及び「名古屋学芸大学サービスラーニングセンター運営委員会規程」を廃止する。

2. 協定・連携一覧

No.	協定先機関	本学	協定等の名称	調印時期	内容/目的
1	日進市	大学	日進市との連携協力に関する協定	H22.2.1	双方の資源や機能等の活用を図りながら、幅広い分野で相互に連携し、地域社会の発展に寄与する。
2	日本赤十字愛知県支部	大学	日本赤十字愛知県支部と名古屋学芸大学との連携協力に関する協定	H26.11.13	双方の資源や機能等の活用を図りながら、幅広い分野で相互に連携し、地域社会の発展に寄与する。
3	三重県熊野市	大学	熊野市と名古屋学芸大学との連携協力に関する協定	H27.6.4	双方の資源や機能等の活用を図りながら、幅広い分野で相互に連携し、熊野市の地域課題に対して名古屋学芸大学の学術研究成果を活かした効果的な施策展開を図ること、地域社会の発展に寄与する。
4	愛知県公立高等学校校長会 家庭部会長 (愛知県立成章高校校長)	大学	高大連携に関する協定書	H27.7.1	相互に連携して、双方の保有する資源を活用し多様な事業を行うことにより、家庭に関する学科設置校及び名古屋学芸大学の教育の向上を図り、高校と大学の接続を円滑にする。
5	三重県菟野町	大学	菟野町と名古屋学芸大学との包括的連携に関する協定	H27.7.16	菟野町と名古屋学芸大学が連携して双方の保有する地域資源、知的資源及び人的資源を活用し、多様な分野で事業を行うことで、菟野町の発展と地域振興に資する。
6	名城大学総合研究所	管理栄養学部	名城大学総合研究所と名古屋学芸大学管理栄養学部との学術研究交流に関する協定	H28.3.23	相互に所有する教育資源を両組織の研究活動全般に活用することで研究交流を促進するとともに両組織の学術研究及び教育の一層の充実を図る。
7	愛知学長懇話会 (愛知県内の単位互換事業参加各大学)	大学	愛知学長懇話会による単位互換事業	H14.4.1	愛知学長懇話会において締結された「単位互換に関する包括協定」に加盟している大学に所属する学生が、他の大学で開講される様々な科目を履修することができ、かつ、履修した科目が在籍する大学の単位として認められる制度。
8	愛西市長 愛西市農畜産業振興会	大学	愛西市及び愛西市農畜産業振興会と名古屋学芸大学との連携協定に関する協定	H29.1.20	三者がそれぞれの資源や機能等の活用を図りながら、幅広い分野で相互に連携協力し、愛西市と愛西市農畜産業振興会が取り組むべき愛西市における地域課題に対して、名古屋学芸大学の学術研究の成果を活かした効果的な施策展開を図ることで、地域社会の発展に寄与することを目的とする。
9	名古屋市中央卸売市場本場 一般社団法人 名古屋市中央卸売市場協会	管理栄養学部	名古屋市中央卸売市場本場、一般社団法人名古屋市中央卸売市場協会及び名古屋学芸大学管理栄養学部との三者間の連携協定	H29.12.8	名古屋市中央卸売市場本場、一般社団法人名古屋市中央卸売市場協会の特色ある物的、人的な資源と本学の食に関する専門的な学術研究の成果を有効に活用し、中央卸売市場で取り扱われる生鮮食品等及びそれらの食に関する施策展開を図ると共に相互の協働による食育活動を推進し、地域住民の健康及び食生活の向上に資する。
10	社会福祉法人中日新聞社会事業団	大学	名古屋学芸大学と社会福祉法人中日新聞社会事業団との連携協定	H29.12.15	双方の資源や機能等の活用を図りながら、幅広い分野で相互に連携し、地域社会の発展に寄与する。
11	医療法人尚豊会	管理栄養学部	名古屋学芸大学管理栄養学部と医療法人尚豊会との包括連携協定	H30.4.24	学生の教育(インターンシップ)や予防医学分野等の諸課題に対応した調査研究などをはじめ、それぞれの人的資源等の活用と人的交流を通じて、健康意識の向上と予防医療の啓発活動につなげることで地域社会へ貢献する。
12	医療法人大医会	大学	医療法人大医会と名古屋学芸大学との連携協定	H31.3.6	学生の教育(インターンシップ)や予防医学分野等の諸課題に対応した調査研究、健康診断利用者への栄養指導などをはじめ、それぞれの人的資源等の活用と人的交流を通じて、健康意識の向上と予防医療の啓発活動につなげることで地域社会へ貢献する。
13	東名古屋医師会医療介護総合研究センター	大学	名古屋学芸大学と東名古屋医師会医療介護総合研究センターとの連携に関する協定	R1.10.16	双方の人的資源や機能等の活用を図ることにより、幅広い分野で相互に連携協力し、教育・研究活動の推進及び地域社会における在宅医療・介護事業の発展に寄与する。
14	イオンモール(株)	管理栄養学部	名古屋学芸大学管理栄養学部とイオンモール(株)とのイオンモール長久手における産学連携に関する協定	R3.9.1	多面的に連携・協定し、両者の発展と地域社会・産業界等の活性化や復興、人材育成、教育・文化復興、調査研究の分野で相互に協力し、地域の食・健康に関する課題に対応し、地域社会の持続的な発展に寄与する。

3. 2021 年度地域連携推進研究機構運営委員会委員名簿

職 名	氏 名	備 考
機構長	岸 本 満	1号委員
副学長(教育・研究)	山 本 一 良	2号委員
栄養科学研究科	塚 原 丘 美	4号委員
メディア造形研究科	尹 成 濟	〃
子どもケア研究科	渡 辺 桜	〃
管理栄養学部	(塚 原 丘 美)	5号委員
〃	井 澤 一 郎	〃
メディア造形学部	(尹 成 濟)	〃
〃	柿 沼 岳 志	〃
〃	錦 見 淳 子	〃
ヒューマンケア学部	(渡 辺 桜)	〃
看護学部	石 田 路 子	〃
教養教育機構	(山 本 一 良)	〃
健康・栄養研究所長	下 方 浩 史	6号委員
子どもケアセンター長	(渡 辺 桜)	7号委員
産官学協同研究センター長	梶 田 渉	8号委員
事務局長	鈴 木 英	9号委員
事務局部長	松 浦 清 彦	10号委員
サービスラーニングセンター	石 原 貴 代	11号委員
地域連携推進研究機構 課長	水 野 美 恵 子	〃
産官学協同研究センター	皆 川 優 介	(オブザーバー)

名古屋学芸大学 地域連携推進研究機構年報 第3号

2022年9月 発行

発 行 名古屋学芸大学 地域連携推進研究機構
〒470-0196 愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57
TEL 0561-75-2270

印 刷 鬼頭印刷株式会社
〒456-0073 愛知県名古屋市熱田区千代田町 3-22
TEL 052-681-1701